

事業概要：岐阜県版「みどりの食料システム」構築プロジェクト

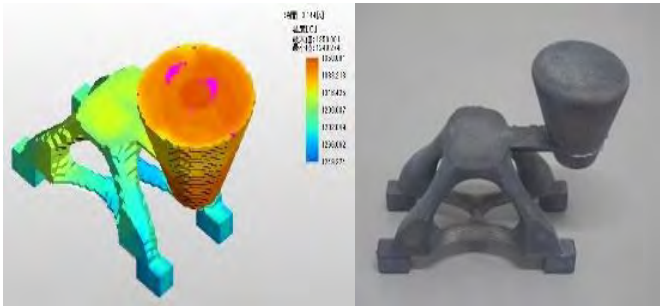
旧制度（推進）

申請者	岐阜県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	681,394千円 (117,488千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	今後の世界ルール（環境面）にも対応した国内外に対する競争力のある農産物づくりにつながる。 本県への移住を含め、新たな農業分野における雇用の増大にもつながる。 魅力ある県産農産物は、県民をはじめとした消費者の豊かな食生活の実現につながるなど、「岐阜県版みどりの食料システム」から、岐阜の地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○生産性の向上と持続可能性を両立した生産体制の構築 ○誰もが取り組める『みどりの食料システム戦略』に向けた人材育成 ○環境にやさしい農産物の持続可能な消費拡大		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・中山間地域など担い手不足の著しい地域における持続可能な農業生産体制づくりのためのスマート農業機械のシェアリング導入や、センシング技術を活用した環境負荷低減に資する精密農業技術の導入など、スマート農業技術の導入支援（補助金）：31,000千円 ・生産性と持続性を両立した生産を実践できる新規就農者等を安定的に確保するため、地域における就農者育成プランの作成や就農相談、就農研修、情報発信等の実施に必要な経費を支援（補助金）：19,266千円 ・地域住民が共同で営農を行う組織体制の育成・強化された地域等に対し、課題解決に向け見直しを行った地域計画に関連した効率的な生産と環境負荷低減などを両立する農業機械や、これらを実践する人材の労働環境改善に必要な機械・施設の導入を支援（補助金）：17,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①持続的な農地利用を担う経営体数（+740経営体） ②本事業を通じた農福連携マッチング件数（+100件） ③本事業を通じた規格外農産物等を活用した6次産業化商品の開発数（+25商品） ④ぎふ清流GAP消費者認知度（+34%）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：「清流の国ぎふ」の未来を支える森林づくりプロジェクト事業

旧制度（推進）

申請者	岐阜県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	444,338千円 (64,735千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・産業・防災・環境のバランスを重視した森林づくりを実現する。 ・木材の需要を拡大し、生産された木材が余すことなく活用され、利益がすべての関係者に還元される林業・木材産業を実現する。 ・森林や自然環境が有する資源を最大限活用し、山村地域に新たな産業と雇用を創出する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○若者の就業促進と離職防止 ○木材需要の急激な変動への対応	 高性能林業機械の展示会  レスキュー訓練  サービス産業事業者交流会	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○スマート林業の推進のため、高性能林業機械の普及促進、研修会の開催、林業労働災害撲滅に向けた取組みを強化する。 ・スマート林業推進事業（2,273千円） ・高性能林業機械等導入推進事業（6,992千円） ・林業安全衛生対策強化支援事業（698千円） ○森林サービス産業等に取り組む林業事業体等を支援するとともに、優良事業の横展開を図る。 ・特用林産物販路拡大支援事業（1,800千円） ・森林サービス産業推進事業費（5,484千円） ○木材プラットフォームの更新と、サプライチェーン構築に向けた体制の強化を支援する。 ・木材需要の急激な変動に対応できる体制づくり支援事業（5,000千円） ○新たなターゲットに向けた展示・商談会を開催するとともに、非住宅建築物の木造化・木質化に向けた支援を実施する。 ・県産材販路拡大支援事業（8,072千円） ・県産材利用拡大推進事業（22,460千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①木材生産性（+2.2m ³ /人・日） ②ICTを導入・活用する林業事業体数（+64者） ③林業労働災害の発生件数（▲6.3件/10万m ³ ）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

申請者	岐阜県	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	779,012千円 （124,441千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・中小製造業のデジタル化による生産性や企業変革力の向上等により若者に魅力のある企業を創出し、さらに学生への企業情報の積極的な発信を行うことで、県内中小製造業の人材確保を支援し、県民総生産の中核を担う製造業の持続的発展を実現していく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○デジタル技術を活用した製造業の生産性向上等による若者に選ばれる企業の創出 ○若者の県外流出防止とU I J ターンの促進		 シミュレーションによる 鋳物製品の高品質化
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地場産業における熟練技術をデータ化・技術承継、伝統技術の見える化・自動化、シミュレーション技術・AIやDXを実現するためのデータを活用したイノベーション創出・基盤技術強化と生産工程のデジタル化等に関する研究及び実用化支援等を実施 消耗品費：10,588千円、役務費：2,750千円、委託料：862千円、備品購入費：54,268千円 ・新規事業の事業計画を多角的に評価し、事業の実現に向けた支援を実施 補助金：373千円（事業実施主体への運営費） ・就活準備段階の県外大学生等に対して、県内で働く魅力の紹介及び県内企業との交流によりUターン就職を促すイベントを実施。また、未内定大学生や若年求職者の就転職を支援する企業説明会等をオンラインを併用して開催 委託料 23,643千円 ・教授・学生を対象とした県内企業魅力体験P R事業を実施 4,248千円 ・製造業向けのD Xに関する研修カリキュラムによる県内製造業への正規雇用を前提としたリスクリングを実施 委託料(指定管理料)：25,501千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①県内製造業（４人以上300人未満）における一人当たり付加価値額（+875千円/人） ②技術移転件数（+37件） ③県出身大学生（新卒者）の県内企業への就職率（+23.8%） ④県内大学新卒者の県内企業への就職率（+14.5%）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html (効果検証の結果及び改善方策への反映) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

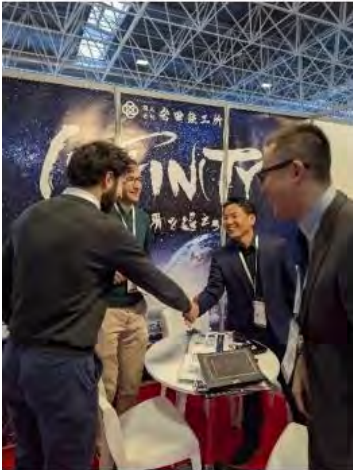
事業概要：オール岐阜による脱炭素社会実現プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	岐阜県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	132,810千円 (16,434千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・再生可能エネルギーの導入促進、自動車業界の次世代化支援、カーボン・オフセットの全県展開及び建築物のZEB化といった取り組みにより、エネルギー関連産業の創出、県内事業者の企業価値の向上、更には地域の強靱化・活性化など社会経済や産業構造の変革を伴った「経済と環境の好循環」を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○再生可能エネルギー導入促進 ○自動車業界の次世代化対応支援 ○カーボン・オフセットの普及		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議による水素の活用に向けた普及啓発（2,000千円）【負担金】 ○事業者向けの省エネ診断・相談及び再エネ活用相談の体制強化（5,889千円）【補助金（事業実施主体への運営費）】 ○太陽光発電設備等共同購入事業費（自走化）【役務費等】 ・再エネ関連設備の導入を促進するため、共同購入の仕組みをより効果的に実施できるよう見直しを図りつつ、県民への働きかけを継続する。 ○再エネ電力の共同購入事業（900千円）【役務費等】 ・太陽光発電設備等共同購入事業を自走化し、設備の設置が困難な事業者などのために、共同購入による再エネ電力の調達を新たに実施し、再エネ電力に切り替えた事業者を県が公表し、PRする。 ○自動車のEV化をはじめとした次世代化に関する専門家による相談、戦略・計画策定支援やセミナーによる情報提供、EV事業等の新規参入・取引拡大を目指す勉強会、新分野展開に向けたマッチング交流会等の実施（7,645千円）【補助金】 ○J-クレジットの創出と活用の推進（自走化）【負担金等】 ・県民・事業者単独ではクレジット化が困難な太陽光発電設備導入による二酸化炭素削減効果を県がとりまとめてクレジット化するため、プロジェクトの実施賛同者（削減活動の実施者）の募集や、会員のモニタリング調査等を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①EV化対応計画策定件数（累計）（+40件） ②脱炭素関連セミナー等参加者数（累計）（+540人） ③ZEB導入セミナー受講者数（累計）（+150人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html (効果検証の結果及び改善方策への反映) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：中小企業の事業継続・新事業展開による地域経済の活力創出プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	岐阜県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	457,113千円 (67,346千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	製造工程の再構築、新分野展開等による付加価値向上やデジタル技術を活用した生産性の向上を支援することにより、持続的かつ安定的な企業体制の構築を目指す。デジタル技術の導入・活用に向けたファーストステップの支援など事業者のデジタル化の進捗状況に応じたきめ細かな支援によりデジタル技術活用を裾野拡大し、生産性向上を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○事業承継による事業継続 ○成長産業の事業継続と新事業展開 ○研究開発やデジタル技術の活用による高付加価値化、経営効率化		
	【R8年度事業 経費内訳】 事業承継ニーズの掘り起こしと事業承継後間もない事業者へのフォローアップとして、個別相談、専門家派遣、巡回指導、セミナーの開催（5,333千円）（補助金） 宇宙分野への進出（海外展示会及び国内展示会出展）支援（8,799千円）（委託費） 岐阜県ドローンビジネス推進研究会（研究会設置、事例調査・研究及び国内製造メーカーとのマッチング）（3,224千円）（委託費） ドローン及び宇宙分野に関わる開発・製造に関する経費の一部を支援（10,000千円）（補助金） 知的財産を活用したオープンイノベーションの推進により県内中小企業の新事業展開や県内中小企業の特許流通を支援（3,946千円）（委託費、報償費、使用料、賃借料） 大学や公設試等の研究成果や大企業等の開放特許を活用し、公設試の伴走支援のもと、従来技術の高度化や他分野展開による新製品開発等へ取り組む県内中小企業への支援（1,475千円）（事業費）（30,569千円）（補助金、備品購入費） （公財）ソフトピアジャパンの業務デジタル化を推進するとともに他の団体の参考例とするため導入プロセス、経費等を公開（4,000千円）（補助金）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値			
	<宇宙分野海外展示会>		
URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html		
	（効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html		

事業概要：賃上げにつながる産業の「稼ぐ力」強化プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	岐阜県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	290,877千円 (87,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・県内企業の売上向上・利益増加に資する施策を実施し、それを原資として県民の賃上げにつなげる（県民所得の向上）とともに、利益の分配において女性を含めたすべての働く人々に等しく配分される社会の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○県の支援体制強化による製造業等における生産性の向上に関する事業 ○需要の変化に対応する販路開拓に関する事業 ○多様な人材が活躍できる魅力的な職場づくりに関する事業		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ものづくり産業の総合支援拠点「テクノプラザものづくり支援センター」において、ものづくり産業の生産性向上や新産業の創出等を図るため、相談支援や、ロボット活用・DX化等に資するセミナー・ワークショップの開催、スマート工場実証ラボ等を活用した支援などを実施。また、企業間のビジネスマッチングや交流促進を支援するほか、情報発信、人材確保に資する事業を実施する。 「テクノプラザものづくり支援センター」における企業支援実施等に要する経費（委託費料（指定管理料））：34,539千円 ・中小企業等の稼ぐ力を強化することによる成長を図るため、各企業等が実施する国内外見本市等への出展・開催や、商品開発・改良などに係る経費を補助する。 中小企業等の販路拡大に向けた取組み支援に要する経費（補助金）：23,000千円 ・企業・学校との連携及びイベント実施に要する経費（委託料）：7,746千円 ・女性の活躍推進や若者、特に女性の県内定着を促進するため、岐阜県内で活躍する女性ロールモデル等と県内在住・在勤の女性や大学生等との交流会を開催する。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①雇用保険新規資格取得者数（+921人） ②県内製造業（4人以上300人未満）における一人当たり付加価値額（+600千円/人） ③ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業数（+78社）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html (効果検証の結果及び改善方策への反映) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：地域の活力創出につながる農畜水産業の魅力向上プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	岐阜県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	357,501千円 (131,259千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	農畜水産物の魅力を一層引き出すとともに、本県固有の地域資源の利活用を進める。また、農畜水産物を県内の飲食・観光業から「選ばれる食材」へと昇華させ、「清流の国ぎふ」ブランド力を向上を図る。 また、若者が将来に希望を抱き、新規参入することができる、魅力ある農畜水産業の確立を図る。 これらの取組みにより、農畜水産物を核とした仕事の創出、農村地域への人の呼び込みなどを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○『清流の国ぎふ』ブランド力の向上に関する事業 ○持続的なブランド力向上を支える担い手の確保に関する事業		   
	【R8年度事業 経費内訳】 ○飛騨牛の特徴を持つ牛づくりに向け、蓄積されたゲノムデータを用いて精度がさらに上がったゲノム育種価により、確実かつ迅速に、候補牛の中から飛騨牛の特徴をもつエリートな雄牛の選抜等を行う。 ・2か年で生産された牛から優秀な雄牛を選抜するためにゲノム育種価解析を行う（消耗品費、委託費）：18,173千円 ○柿の長期品質保持技術や種豚「ボノブラウン」の改良など農畜水産物の魅力向上につながる技術開発（仮説検証～技術構築）を行う。（消耗品費、委託費（人件費、消耗品費、役務費）、役務費）：16,232千円 ○地域で特色ある魚の開発や鮎の安定供給に資する技術開発（仮説検証～技術構築）を行うとともに、鮎の集出荷の仕組み構築に向けた研修会などの実施や、岐阜県の誇る文化であるBBQの場や鮎料理フェア、鮎販売フェアをはじめとする各種イベントを開催する。また、子どもをはじめとした若い世代に鮎を学ぶ場を設ける。加えて、鮎の消費拡大や観光活用、ブランド化、若年層、女性など、新たな客層も楽しめる体験漁場づくりに取り組む民間団体や漁業協同組合への支援を行う。（消耗品費、委託費、役務費、報償費、負担金）：23,165千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における農林水産出荷額（＋33.45億円） ②基幹種雄牛の造成頭数（＋2頭） ③岐阜県内の鮎の年間消費率（＋20%） ④データ活用型農業を実践する経営体数（＋330経営体）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html (効果検証の結果及び改善方策への反映) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html



事業概要：地域産業の新たな価値創造プロジェクト

継続

申請者	岐阜県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	214,698千円 (65,380千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・成長産業であるヘルスケア産業において、既存企業、新規参入企業、スタートアップの連携を通じて新たな価値を創造し、地域産業として持続的に成長できる企業群を形成する。 イノベーションを促進し、技術力向上や新商品開発を支援することで、地域産業の成長と担い手の確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、大学と企業・スタートアップの連携強化により、先進技術を活用したヘルスケア産業の成長を促進するものである。コーディネーター設置や展示会出展、交流会の創出により製品開発と販路開拓を支援し、産学官連携によるイノベーション創出とエコシステム構築を図る。さらに、オープンイノベーションの推進や資金支援、起業家教育を通じてスタートアップの成長と人材育成を進め、地域産業の活性化と雇用創出につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・ヘルスケア産業におけるイノベーションモデル事業の商品開発及び販促支援と、ニーズのマッチングや情報交換会等による企業交流の促進（補助金等）28,533千円 ・県内企業とスタートアップのオープンイノベーション促進（委託料等）12,896千円 ・創業後のスタートアップを加速させるビジネスモデルの実証や商品開発、販路拡大等への補助（補助金）16,575千円 ・ぎふスタートアップ支援コンソーシアム会員の金融機関と連携したセミナー、ビジネスアイデアコンテスト等の開催（委託料等）7,376千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内医療機器・医薬品産業の生産金額（+295億円） ②ヘルスケア産業参入企業とスタートアップ等との連携件数（+9件） ③ロールモデルとなり得るスタートアップの認定件数（+15件） ④革新的ヘルスケア製品の開発・販路開拓に取り組む県内企業への支援件数（+37件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

申請者	岐阜県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	384,304千円 (110,611千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・岐阜県の豊かな自然環境や伝統文化を活かし、文化芸術活動を通じて地域への愛着や誇りを醸成する。 ・多彩な文化プログラムを展開し、県内外から人を呼び込むことで、地域の活力を高め、共に生きる地域社会を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 『「清流の国ぎふ」文化祭2024」が開催された「文化イヤー」の成果を一過性にせず、県民が気軽に文化芸術に触れ、地域で参加できる環境づくりを進めるため、文化団体の自立支援や人材育成、多様な主体との連携を強化する。岐阜県版アーツカウンシルを設置し、伴走型支援や学校等へのアウトリーチを展開することで、文化団体の持続的な活動を促進する。また、関係団体と連携し、作品交換展示や文化的処方の実践を通じて文化の力を地域社会に生かし、県民の参加意欲を高める。市町村の文化活動支援や、美濃焼をはじめとした本県の文化の魅力発信を強化することで、県内外からの来訪促進や地域の誇りの醸成、文化の担い手づくりにつなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・文化団体に伴走型支援助成金事業などを展開。(補助金) 47,147千円 ・「文化的処方」をテーマとしたワークショップなどを開催。(委託料等) 9,900千円 ・文化活動による地域活性化を図る取組を支援(補助金) 3,000千円 ・文化施設において、『清流の国ぎふ』文化祭2024』で再認識した本県の魅力を発信する企画展を開催。(委託料等) 50,276千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数 (+4,800人) ②文化芸術の創作活動に取り組む人の割合 (+5.2%) ③県有文化施設(美術館・現代陶芸美術館・博物館)の利用者数 (+44,772人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html (効果検証の結果及び改善方策への反映) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：「外国人県民」との共生社会の創出プロジェクト事業

継続

申請者	岐阜県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	40,742千円 (12,623千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	外国人県民が岐阜県で安全・安心に働き、暮らせる環境を整える。 外国人材の獲得競争が激化する中で、外国人県民が長く定着し、地域の活力を創出するための支援を強化し、多文化共生社会を実現することを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本施策は、育成就労制度の開始を見据え、外国人材に選ばれる地域づくりと安心して暮らせる環境整備を推進するものである。インターンシップや情報発信により県の魅力を発信するとともに、官民連携の協議会設置で就労・定着支援を強化する。さらに企業向け啓発やマッチングにより受入体制を整備し、防災教育や多言語対応など生活支援を充実させ、外国人材の確保と共生社会の実現を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○「育成就労制度」開始に向けた外国人材に選ばれる岐阜県創出 ○外国人県民の安全・安心な生活環境の創出 ○ソフト事業 ・国外大学からのインターンシップ生受入のマッチング、受入企業を対象としたセミナー等を開催する。(委託料) 5,301千円 ・企業を支援する機関の知見を深めるためのセミナー等を開催する。(委託料) 691千円 ・建設業における外国人材活用の重要性と育成就労制度への法改正を周知するセミナー及び外国人材紹介事業者との交流会を開催する。(委託料) 1,164千円 ・有事の際の協力・共助に結び付けるための支援者向け研修(災害時の外国人支援者育成)と外国人県民の防災意識を高めるための研修(外国人県民を対象に、日本の災害を学ぶための講座として、日本や岐阜県の災害についての知識向上及び地域住民とのワークショップ)等を実施する。(委託料等) 2,017千円 ・市町村が新たに行う多言語対応等の多文化共生推進事業を支援する。(補助金) 2,200千円 ・市町村が新たに行う多文化共生を推進する施設整備や物品購入を支援する。(補助金) 1,250千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における外国人数の対前年度比増加数(+18,000人) ②外国人労働者数の対前年度比増加数(+9,000人) ③外国人インターンシップ参加者数(+40人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html (効果検証の結果及び改善方策への反映) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

〈インターンシップ生研修の様子〉

事業概要：地域に眠る森林資源の発掘・磨き上げプロジェクト

継続

申請者	岐阜県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	84,250千円 (19,870千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・岐阜県の未利用広葉樹資源を有効活用し、広葉樹サプライチェーンを構築する。 ・県産材製品の輸出量を拡大し、特に欧州市場での販路を開拓することで、地域経済の活性化と持続可能な森林利用を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 未利用広葉樹の有効活用に向け、素材生産から製品化までのサプライチェーンを構築し、「飛騨の広葉樹」ブランド化と新製品開発、加工施設整備、人材育成を進める。展示会出展や市場調査により販路拡大を図るほか、しいたけ原木利用体制も整備する。さらに欧州市場の開拓や認証体制構築により輸出を促進し、県産材の需要創出と利用拡大を目指す。					 広葉樹製材加工研修	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・広葉樹サプライチェーン構築に向けた検討会の開催（補助金）600千円 ・森林空間の活用を促進するしいたけ原木の調達支援（補助金）1,500千円 ・きのこ原木成林再生化の検討（委託費）600千円 ・県産木製品の販路開拓のための研修会、商談会の実施及び製品ブラッシュアップ指導等プロモーション活動の実施（委託費）12,540千円 ・EUDRに対応した国際認証制度に関する調査、体制構築（委託費）1,000千円					 きのこ原木の生産支援  欧州での展示商談会	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①木材生産量（+51千m ³ ） ②県産木製品の欧州向け輸出取扱額（+6,000千円） ③県内産しいたけ原木調達本数（+9.5千本）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：夏季の高温など極端な気象現象を乗り越える農業対策プロジェクト

継続

申請者	岐阜県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	451,873千円 （144,723千円）
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	極端な高温に対応し、農畜水産業の出荷額の更なる増加、雇用の創出など持続可能な農畜水産業を実現する。生産者や関係団体、企業、消費者と連携し、技術導入や新技術開発を進めることで生産量や品質を向上させ、地域経済の活性化と温室効果ガスの削減を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 異常高温による農畜産物の品質・収量低下や家畜への影響に対応するため、高温耐性品種の導入や比較試験、病虫害防除技術の実証を進めるとともに、スマート農業機械の活用で安定生産を図る。さらに研究拠点整備により水稻や園芸品目の高温対策技術を確立し、収益性向上を目指す。加えて労働環境改善や人材育成、漁業・環境対策も含め、産業全体で気候変動への適応と持続的発展を推進する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・高温による農作物の生育障害を回避する栽培技術や、高温で多発する病虫害の管理技術の開発（仮説検証～技術構築）（消耗品費、委託費（人件費、消耗品費、役務費）、役務費）：7,260千円 ・高温により異常発生する害虫に対応するため、害虫の防除や生息源を管理するために必要となるスマート農業機械・機器の導入にかかる経費の支援（補助金）：11,000千円 ・農業者、農業者団体等が連携し産地単位で実施する、高温対策に向けた機械・設備等の導入経費の支援（補助金）15,240千円 ・新たな漁場利用の調査・分析の結果を踏まえ、県内への横展開を可能とする早期放流鮎の安定供給技術の確立を行うとともに、漁協による早期放流事業や、漁協が行う効果的な放流方法の検証のための調査事業を支援（補助金）：50,452千円 ・専門家を帯同した企業訪問による温暖化対策の取組を促進（委託費等）：10,282千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農業産出額（+90億円） ②地域における新規雇用就農者数（+1,140人） ③中山間地に適した水稻の品種・系統の選定数（+3） ④中山間地園芸品目の高温化対策技術の開発数（+4） ⑤温室効果ガスの大口排出企業への直接訪問回数（+90件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：AI・ロボット技術による企業の生産性向上プロジェクト

継続

申請者	岐阜県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	508,402千円 (168,710千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・AI・ロボット技術の導入により作業工程を省力化・最適化し、人材不足を改善する。これにより、競争力を高め、持続可能な技術活用と生産性向上を図る。 ・限られた人材を育成し、安定的な生産活動を実現することで、賃金水準の向上や労働環境の改善を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内企業の多様なニーズに対応し、AI・ロボット技術の導入を推進するため、共同研究や実証実験、アウトリーチ支援を行い、自動化や省力化による生産性向上と人手不足解消を図る。併せて、リスキリング支援や若手・外国人材の育成を進め、技術の継続的活用と人材確保につなげ、産業競争力の強化と持続的成長を目指す。					 【アウトリーチ型伴走支援イメージ】	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・県内企業のニーズに合わせたAI・ロボット技術の研究開発（委託料等）4,298千円 ・AI・ロボット技術等を活用して省力化・省人化を図り業務改革・新ビジネス創出を目指す県内企業の取組みへの支援（補助金・負担金）93,500千円 ・中小企業等のAI・ロボットなど自動化技術等の導入に関し、産学官連携のもとアウトリーチ型で伴走支援（委託料）30,160千円 ・研究開発を実施するための機器、備品を整備 34,096千円 ・新技術導入等に向けたリスキリングに関する最新情報（研修・費用助成等）を提供するとともに、未着手企業への働きかけを強化（委託料等）3,577千円 ・外国人訓練生への実習や児童生徒への技術体験会の開催 3,079千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内製造業における一人当たり付加価値額（+300千円/人） ②AI・ロボット等導入による生産性向上県内企業割合（+21%） ③職業能力開発短期大学校でロボット技能を習得した外国人材の就職先企業数（+30社） ④リスキリング合同説明会（マッチングイベント）参加者数（+300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：世界に選ばれる持続可能な観光地づくりプロジェクト

継続

申請者	岐阜県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	511,736千円 (109,789千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・岐阜県の魅力を磨き、国内外からの観光客を増やし、観光消費額を拡大する。 ・サステナブル・ツーリズムを推進し、地域資源を活用した新たな観光コンテンツを創出することで、地域間格差を是正し、観光の受け入れ体制を整備することを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県全域で持続可能な観光を推進し、誘客と観光消費拡大を図るため、国際認証取得等の支援や映像コンテンツを用いた魅力発信を強化することで、オーバーツーリズム対策やブランド力向上、県内周遊の促進へつなげる。さらに、木曽三川サイクルツーリズムのルート構築、森林サービス産業の育成、中山道の周遊滞在観光の拡大など、新たな観光資源の磨き上げを進めることで、多様な客層を呼び込み、地域の経済効果を高める。また、観光事業者の人材不足に対応するため、若者に訴求する求人動画の作成支援を行い、人材確保につなげる。これらの取組により、県全域で世界に選ばれる持続可能な観光地づくりを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・国際基準に準拠した観光地域づくりを支援（補助金等） 53,284千円 ・観光誘客につながる森林サービス産業の費用を支援（委託料） 4,155千円 ・中山道の各宿場間などをつなぐ実証実験などを実施（委託料） 6,000千円 ・観光業界で働く魅力発信のための動画作成を支援（補助金） 2,500千円 ○インフラ整備事業 ・自転車走行空間の整備 15,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+1,612億円） ②外国人延べ宿泊者数（+160万人） ③国際認証取得地域数（+7地域） ④沿川市町における「自転車活用推進計画」策定数（+7件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：「情報・ものづくり知の拠点」を核としたイノベーション推進プロジェクト

新規

申請者	岐阜県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	410,805千円 (83,601千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ソフトピアジャパンセンター、テクノプラザものづくり支援センターをオープンイノベーションの拠点とし、企業同士が強く連携し、地域全体で新たな価値を創出する地域産業のクラスター形成を目指す。 ・協業による新事業の創出、イノベーションを担う人材育成により、限られた人材で高い生産性を維持する地域経済を構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 他企業や大学、自治体とのネットワーク構築に精通した共創マネージャーを設置するとともに、ビジネスマッチング等交流イベントの開催、マッチングした企業の新製品の開発支援、オープンイノベーションの魅力を発信することで、企業間もしくは行政機関との連携を促進する。さらに県内企業の従業員が新しいアイデアを創出するための体験型の人材育成講座を開設し、オープンイノベーションを推進するためのスキルを備えた人材を育成する。					オープンイノベーションの推進  情報産業の集積拠点 ソフトピアジャパンセンター ものづくり産業の集積拠点 テクノプラザものづくり支援センター 高い生産性を維持する経済の構築	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・企業間連携の促進（委託料） 17,342千円 共創マネージャーによる企業間マッチングの支援、交流イベントを開催する。 ・ものづくり開発支援（委託料） 16,293千円 マッチングした企業の新製品開発を促進するため、専門家の指導や3Dプリンターなどの先端機器活用による試作開発支援を行う。 ・スタートアップとの官民連携促進（委託料） 13,828千円 スタートアップが強みとする新しい技術やビジネスモデルを、地域課題の解決に活用するために、県や市町村と共に解決を図る実証事業を行う。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①従業員1人当たりの付加価値額（+478千円） ②企業のマッチング支援の実施件数（+171件） ③デジタルものづくり工房の開発相談件数（+132件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：稼ぐ力を高める県産品ブランド高付加価値化プロジェクト

新規

申請者	岐阜県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	371,086千円 (119,832千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県産品の価値を最大限に生かし、外需獲得を通じて事業者の稼ぐ力を高めることで、地域経済の持続的な拡大を目指す。 販路開拓支援とブランド力強化支援を一体的に実施し、新たな消費者層への訴求と付加価値向上を推進する。 稼ぐ人材の育成・確保に資する事業を通じて、事業者が稼ぐ力のノウハウを習得し、将来的に自走可能な体制への移行を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 自力で販路開拓が困難な事業者を対象に、見本市出展や共同プロモーションの実施により国内外への販路を拡大を支援する。 また、県産品の市場競争力を強化するために、若年層や専門家などと連携した新たな商品開発を支援する。 さらに、デジタルマーケティングや海外展開に対応できる人材や、伝統産業を担う人材を育成・確保するため、研修実施や相談窓口設置などの支援体制を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 国内大都市圏等におけるプロモーション実施（委託料）22,872千円 県を代表する土産品の商品開発支援（委託料）19,840千円 伝統産業の後継者育成支援（委託料）9,315千円 海外展開に向けた商談会等の開催（委託料）8,900千円 輸出に取り組む企業への相談体制構築（補助金）6,216千円 宿泊施設等による伝統的工芸品の導入費用を補助（補助金）3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内事業者（製造業）の1企業当たり営業利益額（+336千円） ②県内酒類事業者の輸出免税数量（+190.8KL） ③本事業において実施するセミナー受講者数（+240者） ④高校生の就職先に占める県内企業(製造業)の割合（+3.6%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html
	<海外見本市への出展>						

事業概要：若者・女性の定着に向けた環境づくりプロジェクト

新規

申請者	岐阜県						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	358,324千円 (118,786千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・高校生・大学生の段階から県内大学や地域企業への理解を深め、地域企業の魅力発信を通じて県内就職意識を高める。 ・若者や女性に魅力のある企業誘致や企業SDGsの推進により、若者・女性に選ばれ、働き続けられる環境づくりを実現することで、地域の地場産業においても技術継承やDXび精通した人材確保等を通じた付加価値向上を促し、地域経済の維持及び拡大につなげる。 ・建設・建築分野における働きやすく魅力的な職場環境の整備や離職防止に向けた取組により、若年層の入職・定着につなげる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市町村や地元企業等と連携し、大学生の地元企業への就職促進に取り組む大学を支援するほか、首都圏・関西圏や海外企業への働きかけにより、新たな立地企業の掘り起こしを図る。また、若者女性の価値観の変化を踏まえ、SDGsや柔軟な働き方に取り組む企業を評価・認証する新たなSDGs認証制度を創設し、戦略的な情報発信により県内企業への就業・定着意識を醸成する。さらに、建設・建築分野において、魅力発信や段階的な体験・研修、若年技術者の育成と職場環境改善を通じて人材確保と定着を図り、若者・女性に選ばれ、働き続けられる環境づくりを推進する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・県内私立大学における地元企業等への就職・定着率向上（補助金）50,000千円 ・新たな立地企業の掘り起こし（委託料、使用料）7,000千円 ・県内事業者が若者・女性に働き先として選ばれるSDGs経営への転換を支援（補助金）38,550千円 ・建設・建築分野における魅力発信、研修等の実施（補助金、委託料）10,498千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内高校生及び県出身大学生の県内就職率（+15.1%） ②県内私立大学・短期大学卒業生の県内就職率（+2%） ③新規企業立地件数（+48件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：ESGマネジメントによるふるさと岐阜の自然環境を生かした人材獲得プロジェクト

新規

申請者	岐阜県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	39,941千円 (13,441千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・まだ活用が進んでいない岐阜県の自然環境という地域資源を生かした地場産業の付加価値向上等により、企業等の人材の確保をはじめとする地域経済の活性化を促し、将来にわたって地域経済を維持・発展させていくことを目指す。 ・求職者の職業選択の重要要素であるSDGsに取り組む企業、ESGに取り組む企業、環境・社会に配慮した経営を行う企業を岐阜県内に増やし、地域経済の雇用を生み出し、県内就職者数を増加させていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県の調査の結果、SDGs・ESG、環境・社会に配慮した経営を行う企業であることが求職者の職業選択の重要要素であるのに対し、県内企業の事業活動における環境保全等の取組状況が十分でないことが判明したため、ESGに取り組むための普及啓発や環境教育を提供し、地域経済に寄与する人材を獲得していく。また、本プロジェクトにより、「岐阜県にしかない」豊富な自然環境に触れ合うこととなり、岐阜県に愛着をもつ人を増やし、結果として、岐阜県に就職、定住、関係人口等として、岐阜県に関わり続ける人材を獲得していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・エネルギー地産地消のための研究会を開催（報償費等） 3,248千円 ・ESGの取組を促進する「環境情報ポータルサイト」を構築（委託料等） 4,830千円 ・プラスチック資源循環に関するフェア・ワークショップを開催（委託料等） 1,438千円 ・事業系食品ロス削減に関するキャンペーン・普及啓発を実施（委託料等） 3,245千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①環境関連業種の就業者数（+2,799人） ②県内事業者のESG取組率（+9%） ③砂防堰堤における小水力発電の事業着手数（+10箇所） ④再生可能エネルギー創出量（+3.66PJ）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：ぎふモーニングプロジェクトから人を呼び込むワクワクのまちづくり

新規

申請者	岐阜県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	236,171千円 (84,272千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・岐阜県が誇る喫茶店のモーニング文化や岐阜ならではの魅力を体験する機会を提供し、関係人口や移住者の増加につなげる。 ・中心市街地の遊休不動産や地域の空き家を、創業者や移住希望者等が挑戦できる場として再生し、賑わいと人の流れを創出することにより、関係人口、移住・定住や次世代の担い手育成につながる持続的なまちづくりを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 喫茶店のモーニング文化を活用した「ぎふモーニングプロジェクト」や、県外の児童生徒に岐阜県での宿泊や自然・文化体験、防災体験を含む交流の機会の提供により、関係人口や移住者の増加を図る。また、県図書館・県美術館周辺を活用した賑わい創出イベントにより、世代間交流や滞在機会を創出し、生活満足度の向上につなげる。また、中心市街地・空き家の活用促進により、交流人口の拡大、移住促進を図り、地域の賑わいと持続的な人の流れを創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ぎふモーニングプロジェクトの全県展開（委託料等）55,027千円 ・ふたつのふるさと事業（補助金）4,010千円 ・空き家の活用促進を目的に、市町村と連携した空き家の活用を促進するアイデアを募集し、採択された提案者が実施する事業（補助金）9,000千円 ・中心市街地における遊休不動産の活用促進による賑わい創出（補助金）3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+11,200人） ②フレイル・介護予防事業への参加者数（+4,050人） ③商店街の新規出店数（+700件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html (効果検証の結果及び改善方策への反映) https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：今しかない！岐阜県航空宇宙産業反転攻勢プロジェクト

新規

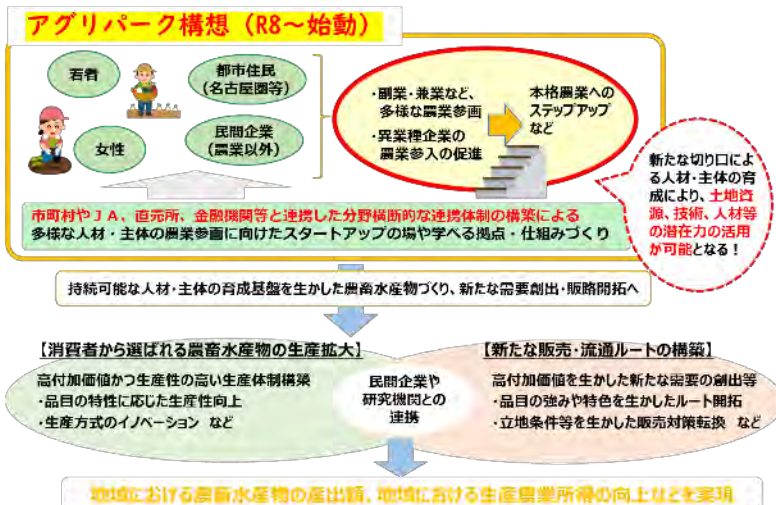
申請者	岐阜県、各務原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	431,789千円 (127,263千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	製造業の中にあっても、特に大きな飛躍が期待できる航空宇宙産業において、県内最大の集積地である各務原市と連携しながら、若者や女性の働く場としての魅力を向上させるとともに、革新的な人材育成と合わせて、企業の人材確保の取組を支援する。さらには様々な産業分野を巻き込んだ宇宙産業展開を支援することで、世界規模で成長著しい航空・宇宙に関わる需要を取り込めるような企業・人材の体制を整え、航空宇宙産業を県の基幹産業へと育成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 航空宇宙関連企業の魅力向上やPR強化、職場環境改善や新分野進出・生産性向上を専門家が支援し人材確保を促進する。また、博物館や学校連携により子どもから社会人まで産業理解を深め、地域定着を図る。さらに、宇宙産業への参入支援や人材育成、産学連携、国際会議誘致を通じて新産業創出と人材確保を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 県内航空宇宙関連企業が魅力向上・人材確保PRのために取り組む先導的な事業に対する助成（補助金）岐阜県50,585千円 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館における航空宇宙産業魅力発信イベントの実施（委託料、報償費等）岐阜県8,069千円 各務原市1,250千円 高校生や大学生を対象とした、航空専門学校、県内航空宇宙関連企業等への見学ツアー、出前講座等の実施（委託料、印刷製本費等）岐阜県7,757千円 各務原市698千円 GIFUスペースビジネス協議会をベースとした、会員企業のマッチング支援、勉強会・交流会の開催、複数企業が参加するワーキンググループの形成、活動支援（委託料、報償費等）岐阜県10,810千円 GIFUスペースビジネス協議会をベースとした、県内の高校／大学／企業が連携した宇宙産業人材の育成（補助金）岐阜県8,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①岐阜県内航空宇宙産業関連製造品出荷額（+1,282億円） ②岐阜県内航空宇宙産業関連企業の従業員数（+660人） ③魅力向上、新分野進出、生産力強化を支援した企業数（+60企業） ④人材確保に向けたセミナー等に参加した参加者数（+2,700人） ⑤宇宙産業に取り組む企業（GIFUスペースビジネス協議会法人会員）数（+60企業）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：地域資源の新結合によるストーリーで繋ぐ体験型観光創出プロジェクト

新規

申請者	岐阜県ほか 3 自治体※					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,167,311千円 (700,191千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	戦国文化など共通する地域資源を物語性のある観光コンテンツとして再編集し、文化・自然・武道・伝統工芸・スポーツなど多様な資源を横断的に組み合わせることで、高付加価値な観光を創出する。市町村と連携し、周遊促進と地域内消費の拡大を図るとともに、地域産業全体の付加価値を向上させる。また、資源の磨き上げとプロモーションにより持続可能な観光地域づくりを推進する。さらに複数自治体が連携することで地域産業クラスターの形成にもつなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歴史・文化・自然・アウトドアなど多様な地域資源をストーリーで結び、高付加価値な周遊観光を促進する。関ヶ原を中心とした戦国・武将観光や武道ツーリズムの強化、地域ごとの資源を結ぶ広域プロモーションにより、県全域への誘客と消費拡大を図る。また、アウトドア、山岳観光、スポーツ大会、伝統芸能、工芸、化石発掘など分野横断の魅力発信を進め、体験型観光を創出するとともに、農林業との連携によるインバウンド向け商品開発や外国語観光ガイドの育成を推進する。さらに、デジタルマーケティングやAI時代の検索対策を強化し、国内外への効果的な情報発信を行うことで、「稼ぐ観光地域」の実現を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・アウトドア関係企業等と連携した P R を実施（委託料） 110,338千円 ・戦国・武将観光や武道ツーリズムを県全域で推進（委託料） 99,600千円 ・伝統芸能を活用し、観光振興を推進（委託料等） 26,145千円 ・スポーツ大会を活用し、交流人口の拡大を推進（委託料等） 34,100千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+450億円） ②魅力度ランキング（▲6位） ③観光入込客数（+914万人） ④旅行博、商談会、イベントなどへの出展回数（+15件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

※岐阜県、可児市、垂井町、関ヶ原町の広域連携事業

申請者	岐阜県、郡上市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,739,956千円 (507,289千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・農業の在り方を抜本的に見直すべき大きな転換期を迎える中、「地域農業を牽引する経営体」を核とし、「多様な農業を担う主体」が共に支え合うハイブリッド型農業構造への転換を図る。 ・また、こうした基盤を起点として、消費者から選ばれる高付加価値かつ生産性の高い農畜水産物の生産を段階的に拡大するとともに、その付加価値を最大限に生かした新たな需要の創出や販路開拓に取り組む。 ・これらの一連の取組を通じ、農畜水産業を核とした地域産業クラスターを形成し、持続可能な産業への転換を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農業参入のハードルを下げ、“農業の間口”を広げることで、多様な主体の参画を促す「アグリパーク構想」により、意欲ある主体と連携し、これまで活用されてこなかった人、土地、技術などを最大限に生かす創意工夫あふれる拠点づくりや仕組みづくりを進める。 また、生産方式の転換を進め、消費者から選ばれる農畜水産物の生産量を拡大するとともに、品目特性に応じた新たな販売・流通ルートの構築などに取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・県内各地の意欲ある活動主体による、スタートアップの場づくりやサポート体制の構築を支援（補助金）47,500千円 ・様々な規制等を打破し、革新的な省人化を達成する地域農業モデルづくりを支援（補助金）15,000千円 ○拠点整備事業 ・実施設計 栽培技術・機械操作の研修拠点の整備（新築） 4,907千円						
主なKPI	①地域における農畜水産物の産出額（+299億円） ②新たな農業人材・主体の育成数（+961人・主体） ③県独自の新たな認定制度の取組面積（+7,000ha） ④県産農畜水産物(加工品含む)の輸出額（+16.5億円） ⑤地域における生産農業所得（+107.52億円） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

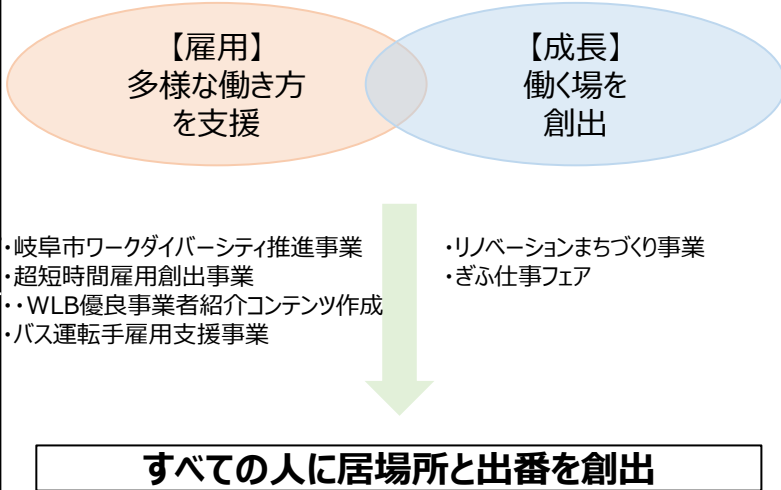
事業概要：持続可能な森林の適正管理と木材の有効活用プロジェクト

新規

申請者	岐阜県、郡上市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,700,529千円 (347,259千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・人口減少下でも木材生産を支えるため、森林技術者の確保・育成やICT導入、路網整備、森林整備などを総合的に推進し、地域の森林資源を活かして「稼ぐ力」となるよう木材生産額の向上を図る。 ・県立森林文化アカデミーを核に、木造非住宅建築物の改修・メンテナンスを担う専門人材育成やバイオコークス等の新分野の研究・普及を進め、地域全体で新たな木材需要の創出を図り、木材生産額の向上につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人工林の約7割が50年生を超え本格的な利用期を迎える中、地域の重要な資源である森林を生かすため、森林技術者の確保・育成や、ICT導入や路網整備などへの支援、木材の搬出効率向上と再造林作業の円滑化に向け、生産現場と主要林道を結ぶ新たな路網整備を実施する。また、木造非住宅建築物の改修・メンテナンスを担う専門人材を育成する拠点の新設に取り組むとともに、大径材やバイオコークスといった新たな木材需要の創出を図る。					 森林技術者の育成研修	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新規森林技術者確保のための研修等の実施（補助金）15,000千円 ・林業担い手の育成に係る現状、課題の調査（委託料）5,250千円 ・大学と連携したバイオコークス製造コスト削減の実証実験（委託料）3,205千円 ○拠点整備事業 ・建築工事 木造非住宅建築物改修・メンテナンス拠点整備 318,291千円 森林文化アカデミーのセンター棟を、大規模な非住宅木造建築。物の温熱環境やメンテナンスを専門的に学び、研究することができる施設に改修する						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①木材生産額（+1.5億円） ②新規林業就業者数（+300人） ③新規非住宅施設の木造化及び内装木質化施設数（+257施設）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/56740.html （効果検証の結果及び改善方策への反映） https://www.pref.gifu.lg.jp/page/343450.html

事業概要：ワークダイバーシティによる、働くことを土台とする持続可能で
選ばれる都市づくり

継続

申請者	岐阜県岐阜市					初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	335,364千円 (47,593千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	多様な働き方を支援する「雇用」に関する事業と、働く場を創出する「成長」に関する事業を実施することで、雇用と成長の好循環を図り、働くことを土台とした持続可能で選ばれる都市を目指す 新たな働き方の取り組みを発信することで、就業機会の創出や多様な働き方を推進する 新たな地域経済の担い手を創出するとともに、リノベーションまちづくりやスタートアップ支援、企業誘致を推進する 民間企業のDX支援を行い、事業の効率化や働きやすい環境の整備につなげる						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な働き方を支援する「雇用」に関する事業と、働く場を創出する「成長」に関する事業を実施することで、雇用と成長の好循環を図り、働くことを土台とした持続可能で選ばれる都市を目指す。					 【雇用】 多様な働き方を支援 【成長】 働く場を創出 ・岐阜市ワークダイバーシティ推進事業 ・超短時間雇用創出事業 ・WLB優良事業者紹介コンテンツ作成 ・バス運転手雇用支援事業 ・リノベーションまちづくり事業 ・ぎふ仕事フェア すべての人に居場所と出番を創出	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・就労移行支援事業所等の支援プログラム（補助金）11,303千円 ・求職者向け講座等開催経費（委託料）3,300千円 ・岐阜市超短時間ワーク応援センター等（委託料等）20,952千円 ・合同企業説明会開催費用（委託料等）8,403千円 ・優良事業者紹介コンテンツ作成費用（委託料）545千円						
主なKPI	①ワークダイバーシティ推進事業で就労につながった方の人数（+13人） ②まちの新旧の様々な資源の魅力を活かした 体験プログラムの開催を通じて 形成されたコミュニティへの参加人数（+200人） ③就労環境に恵まれたまちだと思ふ人の割合（+5.4%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1031548.html https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1035894.html

事業概要：地域資源を活用した『本物志向』のまちの魅力向上と経済活性化による持続可能な選ばれる都市づくり

継続

申請者	岐阜県岐阜市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	130,430千円 (49,860千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	『本物志向』の地域資源を活かした取り組みや事業者の活動を支援する取り組みにより、まちの魅力をより一層高めるとともに経済の活性化を図る まちの魅力などをデジタル技術を活用し、より広くシティブロモーションを実施することで、移住・定住を促進し、交流人口の拡大につなげる						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 アート面でも注目され、ポテンシャルの高い伝統工芸品である“岐阜和傘”など、本市には魅力ある地域資源が多く存在しており、これら『本物』の地域資源を活かして賑わいを生み出すとともに、地域資源の『本物』の価値を認識し、愛着や誇りを持てるよう、まちの魅力を一層高めていく。 また、若い世代が本市を選び、長く住んでもらうとともに、交流人口を増やし、本市へ訪れることをきっかけとし、移り住んでもらうためにターゲットを絞った効果的なシティブロモーションを実施していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ぎふ灯り物語開催費用（負担金）45,240千円 ・バスまちスポット設置費用（負担金）3,500千円 ・Instagram広告による魅力情報発信（広告料）1,120千円						
主なKPI	①20・30代の社会動態（+50人） ②主要施設観光客数（+2,500人） ③中心市街地のにぎわいが高まっていると思う人の割合（+1.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1031548.html https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1035894.html

GIFUナイトビュー事業（ぎふ灯り物語）

事業概要：本市の魅力・伝統・自然を次世代へ継承するとともに新たな魅力創出による市民の愛着を育むまちづくり

継続

申請者	岐阜県岐阜市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	609,117千円 (69,646千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・先人より大切に守り育まれてきた、岐阜市の歴史、文化資産や環境資産を保全し、将来の世代へ継承していく ・子どものころから地域への愛着を醸成し、Uターンや関係人口の創出を図る ・岐阜市の様々な魅力を発信していくことにより、交流人口の拡大と将来的な定住人口の増加も図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市には、国重要無形民俗文化財に指定され、国内外から観光客が訪れる「ぎふ長良川の鵜飼」など、先人達が大切に守り、育んできた魅力的な文化、伝統が多くある。 そのような地域資源に愛着を持つことができるような事業を実施するとともに、これらの魅力が市内外に認知されることで、将来的な定住人口、関係人口の拡大につなげる。					 PARKOUR バルクール ぎふアクションスポーツフェスティバル  民間主導まちづくり事業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ぎふアクションスポーツフェスティバル等開催費用（負担金等）10,837千円 ・民間主導まちづくり支援費用（委託料）21,749千円 ・シティープロモーション費用（委託料等）13,544千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①主要施設（鵜飼、岐阜城、歴史博物館、長良川温泉）の入込客数（+38万人） ②アーバンスポーツイベント（大会やスポーツ教室等も 含む）の参加者（+11千人） ③転出者数（海外・不明分を除く）（▲100人） ④子どもたちが岐阜市民であることに誇りを感じる割合（+87%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1031548.html https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1035894.html

申請者	岐阜県岐阜市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	101,212千円 (32,405千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・まちづくりに主体的に参画する、住民自治の精神を醸成する ・多様で柔軟な働き方ができる企業を支援し、地域経済の担い手に選ばれるまちにしてい ・交流人口や関係人口の創出を図るため、岐阜市の魅力的な歴史や文化をアピールする						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市が掲げる「人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち」の実現を目指すためには、多様な分野において相互に多彩な取り組みを展開していく必要がある。 本事業では、地域でのワークショップ開催や魅力発信、移住を促す事業から民間事業者への支援まで、幅広い内容の事業を実施する。					○地区別ワークショップ まちづくりに主体的に参画する意識の醸成 交流・関係人口を創出 地域経済を活性化 すべての人に 出番と居場所を創出 自分らしく 生き生きと暮らせるまち ○岐阜市中小企業×研修助成 ○スタートアップ創出事業 ○新卒人材採用ブランディング ○ワークシー運転手雇用支援 ○ワークダイバーシテイ&生きがい推進事業 ○移住定住情報発信 ○歴史博物館デジタルアーカイブ構築 ○スポーツ普及事業 ○喫茶文化振興事業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・フォーラム（地区別ワークショップ）開催費用（委託料）5,900千円 ・移住定住情報発信費用（委託料）5,368千円 ・デジタルアーカイブシステム構築費用（委託料）3,005千円 ・採用ブランディングの取り組み補助（補助金）3,500千円						
主なKPI	①岐阜市の人口（+540人） ②自治会などの地域活動に参加している人の割合（+2.7%） ③「転入者アンケート」で就職・転職を理由にした人の割合（+12%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1031548.html https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1035894.html

事業概要：スタートアップ人材育成事業

継続

申請者	岐阜県岐阜市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	24,600千円 (8,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	まちの持続可能性を確保するために、革新的なアイデアで短期的に成長する企業やスタートアップ企業への支援など、新たな産業や事業の創出の取組みをさらに加速するため起業を志す人材を育成することで、新たな働く場の創出や雇用の確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター「ベンチャー白書2020」のアンケート調査で、起業家が日本で起業が少ないと考える原因として、学校教育が上位に挙げられている。 本市ではその課題を解決するためにアントレプレナーシップ教育を実施し、起業家精神を醸成する。 また、直接起業に繋がるような人材を育成するために実践型のプログラムを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・デジタル技術学習実施経費（負担金）1,000千円 ・アントレプレナーシップ教育実施経費（委託料）1,700千円 ・スタートアップ育成プログラム開催経費（委託料）5,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ぎふしスタートアップ創出事業による起業者数（+63件） ②アントレプレナーシップ教育推進事業による商品販売売上額（+12万円） ③スタートアップ育成プログラム受講者数（+20人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1031548.html https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1035894.html

申請者	岐阜県岐阜市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	39,000千円 (8,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	公共交通への自動運転技術の導入に向けて、令和5年11月から日本初となる中心市街地の幹線道路における5年間の自動運転バスの継続運行を実施しており、これまでに90,000人を超える方が乗車(R7.12.31時点) 新車両の導入による「技術の検証」及び認知度向上・理解促進に向け「社会受容性の向上」を図ることで、レベル4自動運転を実現し、運転手不足の解消と将来に向けた持続可能な公共交通ネットワーク構築に寄与 中心市街地や観光エリアにおいて自動運転バスを継続運行することで、中心市街地の魅力と価値の向上を図り、中心市街地活性化基本計画区域の人口増加を目指すとともに、観光と連携してツーリズムを構築し、まちづくりの推進に貢献						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 公共交通への自動運転技術の導入に向け、「技術の検証」、「社会受容性の向上」、「ビジネスモデルの構築」の3つを対応方針として位置付けている。令和7年度より導入する新車両による実証実験を行い、レベル4自動運転の実装を目指す。(一部ルート：R8.1、全ルート：R9.1) さらに、ポスター、PR動画等による広報に加え、アンケート調査による効果検証を行い、更なる「社会受容性の向上」を図る。					 レベル4 対応車両 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・委託料（チラシ、ポスター、動画作成、印刷製本に係る経費）：3,000千円 ・委託料（アンケート調査の実施及び集計、分析費）：5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中心市街地活性化基本計画区域の人口（+240人） ②自動運転バスの乗車人数（+2,940人） ③自動運転バスの社会受容性（+7%） ④主要施設観光客数（岐阜城、鶺鴒、長良川温泉）（+36,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1031548.html https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1035894.html

事業概要：ふるさと岐阜市に居続け（転出減）、本市に住みたい（転入増）と思える環境づくり

新規

申請者	岐阜県岐阜市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	44,697千円 (17,615千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市では人口減少と若年層流出により、地場産業と地域の安全基盤が揺らいでいる。このため本事業では、若者向け動画や働きやすさに取り組む企業の可視化により魅力を発信し、転出抑制と移住促進を図るとともに、3Biz講座で担い手を育成し中心市街地の活性化と受入環境を整備する。さらに交通拠点整備やキャッシュレス化により安心な移動環境を確保し、地域内経済循環と市民生活の向上を実現することで地場産業と地域経済の持続的な発展つなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、若者を中心とした転出超過の抑制と移住・定住の促進を目的に、情報発信と生活環境整備を一体的に推進するものである。大学生の視点を活かした動画やWLB優良企業の紹介動画の発信により、岐阜市で暮らす・働く将来像を具体化するとともに、3Biz講座やバスまちば事業等を通じて、地域での活動機会や交流、移動の利便性を高める。これらの取組を通じ、関係人口の創出から移住への円滑な移行を促し、持続可能な地域社会の形成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・若者の岐阜市リアル動画発信事業（広告費等）3,234千円 ・優良事業者紹介動画の作成事業（委託費）845千円 ・月3万円ビジネス（3Biz）講座の開催（委託費）10,236千円 ・コミュバスのバスまちスポット設置費用等（負担金）2,000千円 ・コミュバスへのキャッシュレス端末の導入（使用料及び賃借料等）1,300千円						
主なKPI	①移住者数（+15人） ②20代の転出者数（▲45人） ③中心市街地のにぎわいが高まっていると思う人の割合（+3%） ④3Biz講座の受講者数（+12人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	3Biz イメージ
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1031548.html https://www.city.gifu.lg.jp/info/seisaku/1006500/1006501/1006504/1035894.html

事業概要：ライダーズタウン上石津魅力創出プロジェクト

新規

申請者	岐阜県大垣市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	17,681千円 (7,743千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・将来の移住促進につなげるため、ありふれた里山の風景に「オートバイ」という付加価値を創出し、新たな上石津の魅力を発信すること及び今後の移住施策の基盤形成を図る。 ・地域おこし協力隊や地域活性化起業人など、地域の多様な主体の参画による役割を再設計するとともに、自立性や付加価値を生む持続可能な移住施策を行うことで地域経済の維持及び拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、里山の風景に「オートバイ」という新たな付加価値を加え、上石津の魅力を発信しつつ将来的な移住促進の基盤形成を図るものである。ツーリングマップや情報誌、イベント等を通じた情報発信に加え、PR動画の制作・配信により若者世代へ訴求する。また、お試し居住体験の提供により地域への関心を高め、交流人口の拡大と定住への段階的な移行を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・バイクを活用した地域活性化 ツーリングマップやパンフレットの作成（委託料等）1,409千円 ・情報誌やバイク関連企業での情報発信（役務費）350千円 ・モーターサイクルショー等でのPRブース出展（役務費等）754千円 ・里山宿泊体験の実施 里山宿泊施設の設備導入費用（委託料等）1,千円 里山宿泊施設の家具家電導入費用（備品購入費）2,600千円						
主なKPI	①地域へのU I J ターン数（+15人） ②上石津地域の観光客数（かみいしづ緑の村公園、日本昭和音楽村・江口夜詩記念館、牧田川の鮎釣、川遊び、多良峡の紅葉の合計）（+3,000人） ③イベント参加者のうち、次回も参加した割合（リピート参加率）（+15%）					URL	【事業PR】
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ogaki.lg.jp/0000069625.html 【効果検証】 https://www.city.ogaki.lg.jp/0000063953.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

事業概要：地域働き方・職場改革ネットワーク事業

新規

申請者	岐阜県大垣市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	10,000千円 (3,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市内企業および地域における多様な人材の活躍を促進し、誰もが自分らしく働き続けられる地域社会を実現することで、地場産業の経営基盤強化と付加価値向上や地域経済の維持及び拡大を目指す。また、「地域で働く人々が、年齢・性別にとらわれることなく持てる能力を発揮し、働きがい・働きやすさを実感できるまち」を目指し、20代女性の転出抑制と若年層の地域定着を図ることで地域経済の持続可能性を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「年齢・性別にとらわれず誰もが働きがい・働きやすさを実感できる職場」の実現に向け、「意識変革」「職場改善」「企業PR」の3段階で推進する。まず、ワークショップを通じてアンコンシャス・バイアスの解消やキャリア意識の向上を図る。次に、専門人材の派遣や補助制度により制度設計や業務改善を支援し、採用・定着課題の解決を促進する。さらに、取組成果を可視化・発信し、企業の魅力向上と若者・女性から選ばれる職場づくりを進め、地域全体のブランド価値向上と人材確保につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・意識改革ワークショップの講師謝礼(報償費)1,000千円 職場において若者や女性にとって、『自身の能力が活かされない・息苦しい』と感じさせる点がないか洗い出し、気づきを促すとともに、意識の変革に取り組むワークショップを実施する。 ・女性活躍推進実践に係る伴走支援者派遣(補助金)2,000千円 女性活躍推進のための社内制度改善等には専門的知見や実践知が必要となることから、ワークショップを通じて課題が明らかになった企業のうち、改善計画を策定し具体的な実践に取り組む企業に対して、伴走支援者（専門人材や複業人材※）を派遣することにより、取組の成果創出を支援する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①20代～30代の転出入数（▲30人） ②ワークショップへの参加企業数（+40社） ③ワークショップの満足度（+80%） ④「働きがい」「働きやすさ」に関する、若者・女性従業員の満足度（+60%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【効果検証】 https://www.city.ogaki.lg.jp/0000063953.html

事業概要：外国人向けワンストップ医療窓口設置事業

旧制度（推進）

申請者	岐阜県高山市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,504千円 (3,333千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	外国人観光客の受入体制の強化を目指し安心して滞在できる観光地となることで、外国人観光客数の回復及び質の向上につなげる。 外国人向けワンストップ医療相談窓口で外国人対応を行うことで市内医療機関への負担を減らし、安定的な地域医療の維持に資することを目指す。 日本語に一定の不安を抱える在住外国人の方が安心して医療機関に問い合わせできる体制を構築することで、外国人にとって生活しやすい環境を整備し、外国人が定住しやすいまちづくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ◆受付業務：宿泊業者、観光事業者、医療機関等から連絡を受け、患者の情報収集、患者情報管理システムに案件登録。 ◆情報提供・予約案内業務：外国人が医療機関で診療を受ける際の情報、助言の提供（支払い、保険制度等を含む）、医療機関の案内 ◆緊急時・トラブル対応業務 ◆支払いサポート・未払い防止策：未払い防止策の助言 等 【R8年度事業 経費内訳】 ・外国人向けワンストップ医療相談窓口 業務委託 4,543千円		
		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1005322/1014595/1016774.html
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①相談件数（+325件） ②市内外国人延べ宿泊者数（+14万2,500人）		

事業概要：新野球場の整備

継続

申請者	岐阜県高山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (877,239千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・新たな野球場を整備することで、幅広い世代の競技者が日常的に野球の練習や試合ができる環境を整え、競技力の向上や大会開催に伴う交流人口の拡大を図るとともに、スポーツの拠点として魅力ある地域とし賑わいを創出するまちづくりに資する施設とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存の野球場を解体し新たな野球場を整備する。 人工芝のグラウンドや独立したブルペン、照度を向上させたLEDのナイター照明、スコアボードの設置、冷暖房付きの選手控室など、選手がプレーしやすい環境を整備する。 また、約1,000席の観客席（屋根付き観客席やバリアフリーの観客席含む）を設置し観客が楽しく応援できる環境を整備するとともに、有料試合実施のための導線の確保や外部から試合が見えない仕様、本部室等を確保し公式な大会が開催できる環境を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 野球場（グラウンド、スタンド等）の整備 ・施設整備費 877,239千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口（▲7,000人） ②「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じている市民の割合（+1.8%） ③大会、イベント等の件数（+10件） ④施設利用者数（+2,300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takayama.lg.jp/ku-rashi/1000021/1000120/1018783.html

事業概要：道の駅飛騨街道なぎさ施設改修事業

継続

申請者	岐阜県高山市					初回採択回	令和7年第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	252,601千円 (70,100千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・道の駅付帯施設（売店、観光案内コーナーなど）を再整備し、機能向上を図り、魅力ある利用空間の形成により、交流人口の拡大や地域振興の拠点となるまちづくりに寄与する。 ・国内外からの観光客や市民の利用を促進し、地域経済の拠点施設としての機能を向上させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 道の駅の拠点機能強化に向けた改修工事の実施する。具体的には、売店エリアおよび地場産野菜販売エリア拡大再構築による売上の向上、業務オペレーションの効率化や、レストランエリアのオープンスペース化、キッズエリアの新設、空調設備の設置、レジシステムの再構築などによる魅力ある施設への再整備事業であり、施設整備後は国内外の観光客や市民の利用を促進し、地域経済拠点としての機能を向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 建築工事費 70,100千円 ・工事費：68,500千円 ・設計費： 1,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①高山市の人口（▲6,566人） ②地域における道の駅の売上高（9千3百十万円） ③施設利用者（売店レジ通過件数）（+2.1万件） ④利用者アンケート（+2%） ⑤施設利用満足度（+20%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1000067/1002790/1023689.html

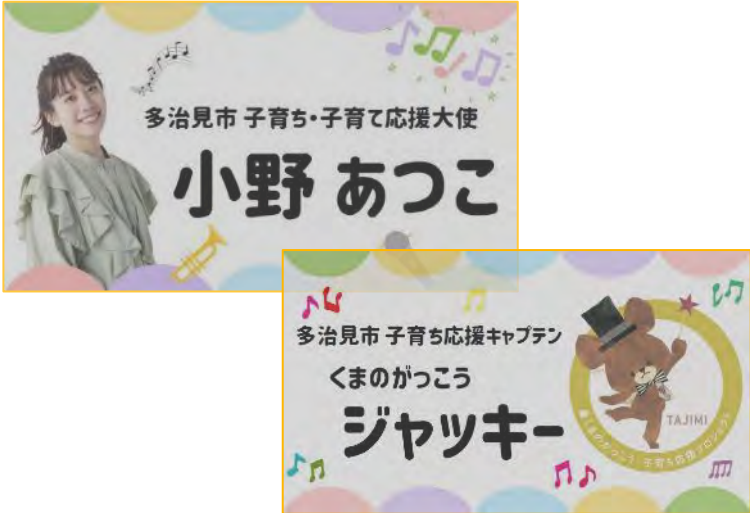
事業概要：企業DX人材育成事業

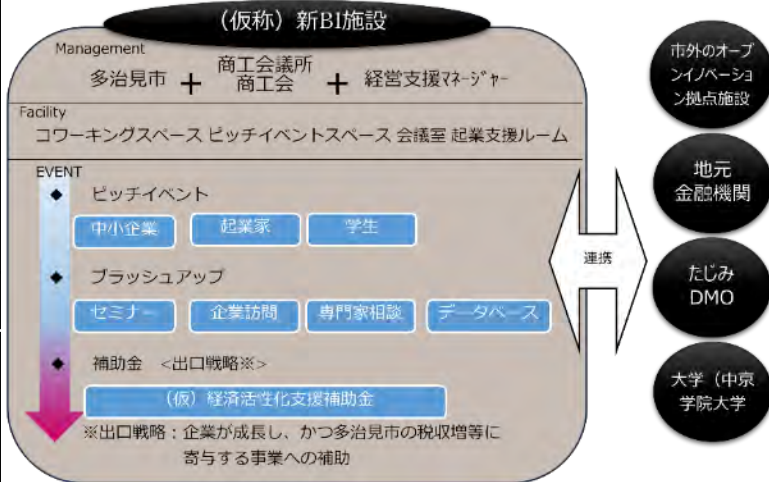
新規

申請者	岐阜県高山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	8,700千円 (8,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・DXに取り組む市内企業に対し、専門家によるデジタル技術導入の伴走型支援を実施し、具体的な成功事例を創出し、その事例を基に他の企業に対する影響を波及させることで、全体の底上げを図る。モデル事例を展開することで、市内のDX化への自主的な動きの機運醸成のきっかけとし、継続的な効果拡大を図る。 ・当事業により、市全体の経済活性化が進み、地域産業の発展に寄与し、持続可能な経済成長を実現する。DX化による業務の効率化や生産性向上は、市内企業の競争力・魅力を強化し、結果として市内での雇用創出や市外からの人材確保に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・DXに取り組む意欲がありながら、リソース・専門知識の欠如や長期的な視点を持っていないなど、推進方法に課題を抱える市内企業に対し、外部の専門家の個別支援・コンサルティングにより、業務改善や効率化・経営課題の解決に対し、デジタル技術導入の伴走型支援を実施する。 ・個別企業の課題解決を通じて具体的な成功事例の創出と企業内にDX推進人材育成をすすめ、自社課題に合わせたDX実践による業務効率化・生産性向上の成功事例として市内企業間で横展開する。また、成功モデル事例集として市ホームページ上に公開する。					事業参加 企業における DX化推進 市内のDX人 材育成 ・市内企業の競争力・魅力を強化 ・地域経済の持続的発展	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 DX化伴走支援にかかる委託料 ・企業DX伴走支援業務委託（委託料）8,700千円 現地指導による課題抽出から実装計画までの伴走支援やオンラインサポート等を実施する。						
主なKPI	①経済活動別市町村内総生産における雇用者1人当たり雇用者報酬（+4,135千円） ②企業DX人材育成事業に参加し、支援を受けた企業に導入されたデジタルツールや経営課題の改善手法の数（+5個） ③「地域産業が受け継がれるための人材の確保・後継者育成が進んでいる」と感じている市民の割合（+1%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：戦略的移住・定住促進施策を軸としたシティプロモーション

継続

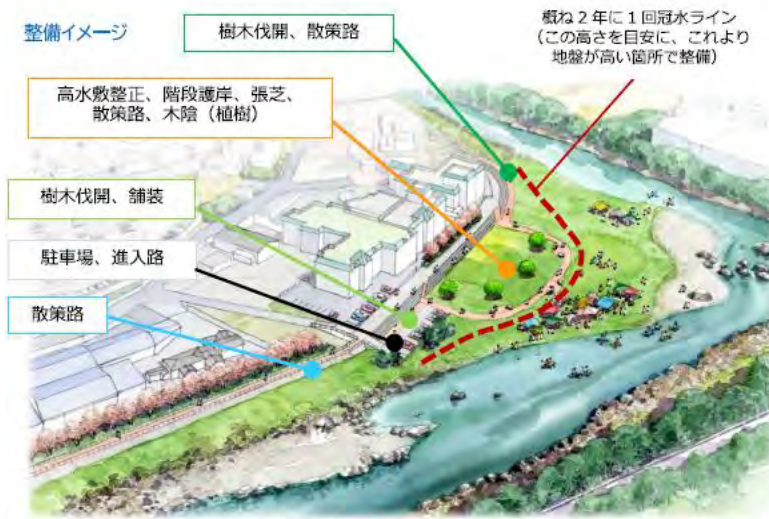
申請者	岐阜県多治見市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	24,500千円 (6,900千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	JR多治見駅周辺地域戦略的開発支援事業により市内不動産の流通を促進させるとともに移住定住者の増加を図る キャラクター等を活用した子育て・子育て推進事業により、市の子育て政策をブランド化するとともに、「子育てにやさしいまち」のイメージアップを図る。 SNSや各種移住相談機会等を活用した情報発信事業により、効率的かつ効果的にシティプロモーションを行い、魅力向上及び移住者の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 JR多治見駅周辺エリアにおいて、宅地開発や土地再活用等の支援を行い、住宅供給の促進と中心市街地の活性化を図る。あわせて、本市ゆかりの著名人やキャラクターを活用し、子育て支援施設等でのイベントや体験型事業を通じ、子育て施策の認知度向上と交流人口の拡大を図る。さらに、SNS等のデジタル媒体や移住定住イベントを活用した情報発信により、市の魅力を効果的に発信し、相談機会の創出と移住定住人口の拡大につなげる。これらの取組を相互に連動させることで、社会動態の改善と持続的なまちの活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・子育て・子育て応援大使活用事業 1,500千円 ・子育て応援キャプテン活用事業 1,300千円 ・SNSや各種移住相談機会等を活用した情報発信事業 4,100千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会動態増加者数(市全域) (+450人) ②社会動態増加者数(駅周辺) (+6人) ③子育て・子育て施設(児童館等)利用者数 (+1,500人) ④移住定住相談件数 (+45件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(市公式ホームページ) https://www.city.tajimi.lg.jp (総合戦略該当ページ) https://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/shisaku/sougousenryaku1.html

申請者	岐阜県多治見市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	122,925千円 (53,622千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・中小企業を取り巻く厳しい環境の中で、生産性の向上と付加価値の向上に取り組む前向きな事業者を効果的に発掘し、限られた資金を集中的に投下することが必要である。そのため、企業、起業家が集う拠点を整備し、市、商工会議所、支援機関が一体となった支援を行うとともに、地域経済の活性化に資するビジネスアイデアを抽出する仕組みを構築する。企業の生産性、付加価値額を向上させる事業計画に対して集中的な支援を行うことで、地域経済を活性化させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業、起業家が集う拠点施設（コワーキングスペース）を整備し、常駐する市職員、経営支援マネージャー、商工会議所職員がワンストップで相談業務を行うとともに、交流会やセミナーの開催、データベース構築により企業間、起業家のハブ施設とする。また、定期的に開催するピッチコンテストにより地域経済の活性化に寄与するビジネスアイデアの抽出を行う。抽出された企業、起業家は、市内支援機関を含めた体系的なブラッシュアップを受けて、（仮）経済活性化補助金の交付を受ける。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・コワーキングスペース及びピッチイベント会場整備（備品購入）23,200千円 ・施設運営（報償費、需用費、使用料等）4,430千円 ・ピッチイベント、交流会開催（委託料等）3,695千円 ・データベース構築、セミナー開催（委託料）17,500千円 ・（仮）経済活性化補助金（補助金）3,000千円 ・無線LAN、講演環境等整備 2,097千円						
主なKPI	①付加価値額（+1億9千2百万円） ②起業・創業者と中小企業とのマッチング件数（+150件） ③創業者数（+6人） ④ピッチコンテスト参加者数（+300件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（市公式ホームページ） https://www.city.tajimi.lg.jp （総合戦略該当ページ） https://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/shisaku/sougousenryaku1.html

申請者	岐阜県多治見市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	93,183千円 (80,183千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・中京学院大学の移転開学により、「若者」「留学生」が増加する。この好機を捉え、大学や多様な機関と連携し、地域経済活性化、スポーツを通じた地域交流、多文化共生の推進に取り組み、交流人口の増加や地場産業（美濃焼）をはじめとした市内企業への人材の育成・定着を図り、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中京学院大学の特色を活かした連携事業を実施し、地域を活性化する。スポーツ施設を改修整備し、ハイレベルな競技に対応可能、かつ、市民の安全性・利便性の向上を図り、子ども・若者向けスポーツ振興イベントを連携開催してまちの賑わいを創出する。また、留学生等市内在住外国人の生活支援ツールの作成及びコミュニティ形成支援イベントを連携開催し、多文化共生を推進する。加えて、地域消費喚起イベント及び就労・促進に向けた取組を実施し、地場産業（美濃焼）をはじめとした地域経済の活性化を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・大学等と連携したスポーツ振興イベント（委託料）2,000千円 ・外国人生活支援ツール作成（委託料）1,900千円 ・外国人コミュニティ形成支援及び地域連携イベント（交付金）500千円 ・地域消費喚起イベント（委託料等）4,000千円 ○拠点整備事業経費 ・球場施設及びスケートボード場の設備整備工事 71,783千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市全域における社会動態増加者数（+750人） ②市民スポーツ大会（春季・夏季）の参加者数（+500人） ③外国人を対象とした講座や多文化共生イベント参加者数（+500人） ④市中心部における交流人口増加者数（+50,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（市公式ホームページ） https://www.city.tajimi.lg.jp （総合戦略該当ページ） https://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/shisaku/sougousenryaku1.html

事業概要：多治見市かわまちづくり事業

新規

申請者	岐阜県多治見市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	96,937千円 (25,612千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	多治見市の中心に流れる土岐川の上流部に多目的空間や散策路を整備し、中心市街地と歴史資源を結ぶ回遊動線を形成する。また、イベント開催や情報発信により交流人口を拡大し、美濃焼をはじめとする地場産業の物販・飲食・宿泊需要を喚起することで、地域経済の持続的な活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、中心市街地や歴史資源、地場産業関連エリアをつなぐ拠点として、多目的空間や散策路、駐車場等を土岐川上流部に整備することで地域活性化を目指す。散策ルートの設定や、中心市街地や下流エリアとの一体のイベント実施により観光振興を図るとともに、SNS等を活用した情報発信により本市の魅力をアピールする。さらに、多目的空間でのイベントにより人の流れを創出し、美濃焼をはじめとする地場産業の物販や関連消費の拡大を促進する。これにより、川と親しめる環境整備と併せ、地域経済の活性化と地場産業の持続的発展を図る。					 整備イメージ 樹木伐開、散策路 高水敷整正、階段護岸、張芝、散策路、木陰（植樹） 樹木伐開、舗装 駐車場、進入路 散策路 概ね2年に1回冠水ライン (この高さを目安に、これより地盤が高い箇所を整備) ※資料はイメージを示すもので、今後変更する可能性があります。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・社会実験（イベントの実施）（委託料） 4,200千円 多目的広場予定地完成後の利活用法の検討や管理推進上の課題の把握および広場の存在を知ってもらい、広場で魅力的なイベントを開催することで何度でも多治見市に訪れたいと思ってもらえることを目的として行う ○拠点整備事業 ・多目的空間整備工事 21,412千円						
主なKPI	①観光消費額（1人当たり消費額）（+1,450円） ②来訪者満足度（+4%） ③リピーター率（+4%） ④イベント参加者数（+4,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（市公式ホームページ） https://www.city.tajimi.lg.jp （総合戦略該当ページ） https://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/shisaku/sougousenryaku1.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	岐阜県中津川市					初回採択回	令和7年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	227,305千円 (103,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	民間人材を中心とした官民連携での取り組みを実施し、持続可能で活気あふれるまちづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 当市の中心市街地はその歴史的背景から、商業、観光、文化、交通のハブなどの多面的な要素、機能を持ち、市全体の活性化に不可欠なエリアであるが、人口減少、少子高齢化の進行による様々な課題が浮き彫りになってきた。その課題を解決し、中心市街地の魅力度の向上や活性化を図ることで、市全体の拠点となる都市機能を高め、持続可能な活気あふれるまちを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・まちづくり人材育成事業 地域で活躍する人材の育成委託料：8,852千円 官民連携した公共空間の利活用推進事業 公共空間の民間活用の伴走支援委託料：1,100千円 駅前広場の民間活用、人流増加促進のための整備：32,160千円 空き家、空き店舗の利活用及び創業支援事業 空き家、空き店舗の利活用及び新規創業支援事業：2,500千円 ・拠点等活性化事業 域学連携の活性化委託料：1,953千円 ・デジタルデータ収集分析事業 駅前活用および滞在機能整備に伴う人流、交通影響調査：6,996千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 1 日当たりの歩行者交通量（+ 2,203人） ② 中心市街地区域内の創業件数（+ 4件） ③ 中心市街地区域内の空き店舗件数（▲3件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/shisei/policy/tpw/37164.html

事業概要：かしも明治座整備事業

新規

申請者	岐阜県中津川市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	48,950千円 (4,950千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	かしも明治座の機能を向上させ、地歌舞伎等の地域文化の振興を図ることで地域への誇りや愛着を醸成するとともに、リニア開業を見据えた当市北部の持続可能な地域の観光拠点として確立させることで、地場産業の付加価値向上や販路開拓等を支援し、関係人口、交流人口の増加及び観光消費額の増加による地域経済の維持及び拡大を促す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 芝居小屋と一体となる多目的広場の整備および控室への空調設備導入により、施設機能の向上と利用促進を図る。広場では地域住民や団体、学生、企業と連携した多様なイベント（軽トラ朝市、木匠祭、くれ板へぎ実演、里山クラフト、木工体験、舞台裏見学ツアー等）を開催し、世代や地域を超えた交流を創出するとともに、興行時にはバス駐車場として活用し来館者増加を促進する。さらに空調整備により年間を通じた興行環境を整え、山村文化の発信拠点および観光拠点としての魅力向上を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・かしも明治座多目的広場 設計委託：3,300千円 ・芝居小屋の活用促進のための明治座控室へのエアコン設置：1,650千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+43億9千7百万円） ②明治座来館者数（+5,000人） ③明治座来館者による観光消費等の収入額（+2百万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/shisei/policy/tpw/37164.html

事業概要：街の宝を活かした新規事業創出の突破口として地域の稼ぐ力を生み出す農産物等直売所「きなあた瑞浪」活性化プロジェクト推進計画

継続

申請者	岐阜県瑞浪市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,000千円 (12,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の将来都市像である「幸せ実感都市みずなみ」を市民のみならず、市外の人にも実感できることを目指す。 ・地域の名所の魅力を効果的に発信し、集客を目指す。 ・特産品である「瑞浪ポーノポーク」の付加価値を高めるため、商品開発や、流通の確保を実現。 ・リニア中央新幹線の開通を捉え、近隣地域等のニーズに対応し、地域経済の活性化・関係人口の増加を実現。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の強みである農業・歴史・伝統（観光資源）を最大限に活かしておらず、令和5年度に実施した市民アンケートで「瑞浪市は、市内の観光資源の魅力が高まっているまちだと思いますか」の質問に対する肯定的な回答が18.0%という低い結果に留まった。 そこで、瑞浪市農産物等直売所『きなあた瑞浪』を、農業と観光を融合した地域活性化の拠点、また本市の魅力を発信する拠点として位置づけ、本交付金を活用し、情報発信や販売促進活動、新商品開発等に取り組む。					  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・高校生バーベキュー大会の実施（委託料）1,000千円 ・地元特産品の販売促進イベント及びPR活動の実施（委託料）10,000千円 ・新商品の開発（委託料）1,000千円						
主なKPI	①瑞浪市における観光消費額（＋3億5655万7千円） ②きなあた瑞浪売上収入額（＋6923万4千円） ③きなあた瑞浪利用者数（＋7.3万人） ④地域連携の観光新商品の開発数（＋8件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mizunami.lg.jp/shisei/shingikai/1003697/1011333/1011334.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：「健康寿命の延伸」による瑞浪駅周辺エリアマネジメント事業

新規

申請者	岐阜県瑞浪市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	130,000千円 (30,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	エリアマネジメントを行うことで、地域の価値を高め、地域人口を増やす。市民等の関心の高い取り組みを、市の中心市街地であり交通結節点である駅南地区の諸施設で行うことで、より多くの人々にサービスが提供できることとなる。また、日常的な活動や買い物・飲食だけでなく、イベントの実施や憩いの空間を整備することにより、中心市街地としての魅力を高め、多くの人が住みたくなる、訪れたくなるエリアとする。また、本事業において農産物等の地場産品を積極的に活用することで、地域経済の維持及び拡大に資することとなる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 瑞浪駅周辺を「健康寿命の延伸」に取り組むウェルネス拠点とするため、実現可能な健康寿命延伸プログラムの調査・計画・試行を行う。「健康寿命の延伸」に関する講演会や生活様式等に関する各種個別指導、地域食材を活用した健康食、フレイル・介護予防の運動プログラム等の開発を行う。これらのデータを収集しプログラムを磨き上げ、市街地再開発事業による新施設での持続可能な本格稼働へつなげる。					【瑞浪駅周辺まちづくりイメージ図】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ウェルネス拠点運営事業費 ・ウェルネス拠点運営（委託料）：16,000千円 ・事業参加者サポート事業（委託料）：5,000千円 食べて健康になる地元食材（農業・畜産）の生産、販売の仕組みづくり事業 ・生産者へのノウハウ提供（委託料）：5,000千円 ・食祭フェスタ開催（委託料）：4,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の定住人口の増加(+30人) ②生物的年齢を用いた加齢評価得点向上人数(+1,000人) ③瑞浪駅南地区でのイベント回数の向上(+4回) ④新たな瑞浪の関係人口の創出(+300人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mizunami.lg.jp/shisei/shingikai/1003697/1011333/1011334.html

事業概要：現地発着型観光コンテンツ造成事業

新規

申請者	岐阜県瑞浪市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	35,000千円 (7,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・観光協会が主体となって商品造成及びプロモーションを一体的に行うことで、観光消費額及び交流人口の増加を図る。 ・観光協会を中核とした運営体制を構築することで、観光振興を継続的に推進できる基盤を整える。 ・観光協会による販売体制を構築することで事業者の負担を軽減し、観光商品の高付加価値化を図るとともに、観光を安定的に収益を生む地域産業として定着させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光協会の法人化を契機に、観光協会が主体となって団体ツアー対応型観光コンテンツの造成、ブラッシュアップ及び販売体制、事業者との連携体制の構築を行う。本事業により観光協会内に設置する検討委員会を通じて、関係者間の調整や方向性の整理を行い、観光コンテンツの実証、予約・料金収受・精算管理を含む販売環境の整備を進める。あわせて、土産品の開発や商談会参加等のプロモーションを段階的に実施し、観光商品の継続的な展開に向けた基盤整備を図る。これにより、観光消費額の拡大につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・検討委員会運営事業（委託料）3,000千円 ・観光コンテンツ造成・ブラッシュアップ事業（委託料）4,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業により造成した観光商品における観光消費額（+6,700千円） ②本事業により造成した観光商品の利用者数（+1,340人） ③観光協会が一元的に管理・販売する観光コンテンツ数（+20個）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mizunami.lg.jp/shisei/shingikai/1003697/1011333/1011334.html

事業概要：地歌舞伎小屋機能向上事業

継続

申請者	岐阜県恵那市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	58,405千円 (7,310千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地歌舞伎小屋兼地域公民館である宮盛座を改修し、機能向上を図るとともに、地歌舞伎をはじめ伝統芸能の拠点として歌舞伎講座や公演を行い、伝統芸能の保存と活用を推進する。 地域の子どもの中心とした地歌舞伎の練習や公演等に活用し、老若男女関わらず地歌舞伎に参加できる環境づくりを進め、次世代の育成を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地歌舞伎小屋兼地域公民館である宮盛座を改修し、機能向上を図るとともに、地歌舞伎をはじめ伝統芸能の拠点として歌舞伎講座や公演を行い、伝統芸能の保存と活用を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・大歌舞伎役者による小学生への歌舞伎講座（補助金）2,402千円 ・地歌舞伎保存会と大歌舞伎役者との共同公演（補助金）2,956千円 ・宮盛座を拠点とした多様なイベントの開催（補助金・委託料・需用費・報償費）1,952千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内歌舞伎保存会の会員数（+96人） ②地歌舞伎小屋（宮盛座）の年間利用人数（+1,505人） ③地域の文化や風習を生活の中で感じている市民の割合（+17.20%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ena.lg.jp/soshikiic/hiban/machizukurikikakubu/kikakuka/1/4/2/2163.html

事業概要：あい愛バスがふれAI（あい）バスになる事業

継続

申請者	岐阜県美濃加茂市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	89,105千円 (49,416千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	AIを使った新たな交通システムを導入することによりコミュニティバス運行の課題を解消。 定時定路線では、いけなかった場所に行けるようになることで「質の向上」を図ることが出来る。 子どもからお年寄りや多くの皆さんが新たな交通システムを使って外に出かけることにより、地域のコミュニティづくりや安心安全、健康増進、街なかのにぎわい創出、環境負荷の低減等を推進を図る。また、「安心・安全で便利な公共交通をみんなで育み、いつまでも健康で豊かに暮らせるまち」の実現。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 AIデマンド交通システムを導入し、持続可能で利便性の高い公共交通の実現を目指します。運転手不足の解消、運行効率化による収益性向上と財政負担の軽減を図りながら、利用者ニーズに応じた柔軟な移動手段を提供。これにより、地域住民の生活環境改善、アクセスの向上、自家用車依存の緩和、高齢者支援、そして地方経済の活性化に貢献し、地域の持続的な発展を促進します。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 【R8.7～9】 ・再稼働イニシャル費用（負担金） 2,369千円 ・プレ運行費用（負担金） 15,937千円 【R8.10～R9.3】 ・本格運行費用（負担金） 31,110千円							
主なKPI	①公共交通の利用割合（+5%） ②AIデマンド交通リポート利用者数（+150人） ③AIデマンド交通利用者（+10,000人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.minokamo.lg.jp/soshiki/2/12392.html （市HP） （効果検証） https://www.city.minokamo.lg.jp/soshiki/26/15681.html （市HP）

事業概要：持続可能な公共交通サービスの維持とあらゆる世代の外出支援を
一体的に支援する土岐市AIデマンド交通事業

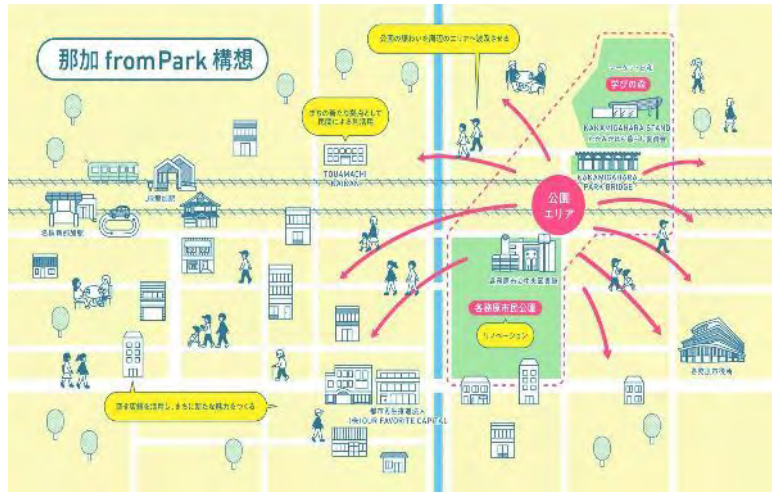
継続

申請者	岐阜県土岐市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	72,754千円 (9,757千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	AIデマンド交通システムを導入し、地域住民の移動利便性を向上させることにより公共交通利用者の増加を図る。 実証運行の実施により、住民意見や利用データの分析によるシステム改修や運行体制の見直しによる利便性向上に努め、新たな交通手段の定着を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 AIデマンド交通システムを導入し、令和7年10月から泉北団地・JR土岐市駅周辺エリアで実証運行を開始する。また、令和8年度には運行エリアを新設する公立東濃中部医療センターへ拡大する。予約情報や運行データをシミュレーション分析するほか、地域住民のニーズ把握や多様な主体の参画により、サービス改善を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・システム業務委託料：9,108千円 (主な経費) ・システム改修費用、広告宣伝費用、システム・コールセンター月額費用、実証運行検証費用 ・運行事業者に対する委託料：649千円 (主な経費) ・ドライバー、運行管理者人件費、消耗品費、燃料代、修繕費						
主なKPI	①1日当たりの公共交通利用率 (+0.07%) ②AIデマンド交通の年間利用者数 (+8,748人) ③AIデマンド交通のリピーター利用率 (+70%) ④新規会員登録者数 (+269人) ⑤オンライン利用予約率 (+65%) ⑥AIデマンド交通の利用者満足度 (+15.3%) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toki.lg.jp/kurashi/doro/1004727/1011170.html

申請者	岐阜県土岐市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (325,778千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・文化財保存活用拠点(新博物館)を建築し、美濃焼と土岐市の歴史・文化の魅力を発信するとともに、市内の地域資源を生かした文化観光コンテンツを創出し、地場産業である美濃焼の振興や観光消費額の増加など、市内各地へのにぎわいと経済波及効果をもたらす拠点施設とする。 ・美濃焼のランドマークとしての事業を地元製陶業者、観光協会等と共同で展開し、地場産業である美濃焼のブランディング力向上への寄与、地域経済の活性化を目指す。 ・地域の歴史・文化に特化した体験学習を行い、地域の子どもたちが自分たちの言葉でふるさとの魅力を語れるアイデンティティの醸成を図り、地域課題である陶磁器産業に携わる後継者育成支援や伝統工芸の継承、振興に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 2,400点の重要文化財を全点常設展示する「重文展示室」、国宝や重要文化財の展示を可能とする環境設備を備え特別展等を行う「企画展示室」、土岐の歴史文化を伝える「常設展示室」を備えた文化財保存活用拠点(新博物館)を建築し、美濃焼と土岐市の歴史・文化を保存・活用・情報発信を行う。 館内外にイベントやワークショップを行う交流スペースを整備し、地域の多様なステークホルダーと有機的な結びつきを形成し、文化観光コンテンツの創出や地場産業の振興など、まちのにぎわい・つながりを生む拠点として整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 新博物館の新築及び敷地造成 ・建築物新築(建物本体土工事) 249,955千円 ・用地造成(擁壁新設、来館者・バス用駐車場整備) 75,823千円						
主なKPI	①圏域の観光消費額 (+2,964万円) ②窯業・土石製造品出荷額 (+50億円) ③市の観光入込客数 (+9万5千人) ④陶磁器関係法人市民税の法人税割額 (1件あたり+7,380円) ⑤年間の来館者数 (+4万4千人) ⑥現代茶陶展に出品した圏域の作家人数 (+15人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年6月公表予定

事業概要：公園を核とした賑わいづくり「那加from Park構想」による魅力的なまちづくり事業

新規

申請者	岐阜県各務原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	70,294千円 (24,694千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	都市公園の賑わいを核に官民連携のまちづくりを進め、地域の魅力を周辺へ波及させる。担い手と住民の交流や観光誘客により交流人口・関係人口を拡大し、地域理解を深めて移住者増加と担い手育成を促進する。さらに地域住民や既存店舗を巻き込んで経済活性化を図り、地区全体の活力向上と持続的な地方創生を実現する好循環の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 当地区への関心と関わりを高める関係人口を創出するため、まちづくり関係者との交流や実践的な研修を行うふるさとワーキングホリデー事業を実施し、参加者が当地区に暮らしながら活動するイメージを持てるようにするほか、官民連携イベントの開催等により、多様な主体がまちづくりに関わるきっかけを提供する。また、冬季のみ運営している学びの森プロムナードのイルミネーションを民間の創意工夫によりリニューアル（通年運営）し、日常的な賑わいを創出することでより多くの方が足を運ぶきっかけとする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ふるさとワーキングホリデーの実施（委託料）1,983千円 ・官民官学連携イベントの開催（負担金、消耗品費、委託料）4,205千円 ・学びの森プロムナード活用事業（委託料）6,000千円 ・SNS等を活用した情報発信事業（人件費、保険料、委託料）12,506千円						
主なKPI	①社会動態における社会増加数（+100人） ②官民連携イベントを通じた関係人口数（+6人） ③ふるさとワーキングホリデー参加者の再訪回数（+27回） ④市民公園・学びの森の公園使用許可件数（+6件） ⑤空き家空き店舗活用補助金（各務原市民公園周辺地区店舗開業支援補助金）を利用し開業した店舗数（+15件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kakamigahara.lg.jp/ （令和8年6月公表予定）

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：保育施設等を中心とした「こどもと美山地域のみらいづくり」事業

継続

申請者	岐阜県山県市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,470千円 (6,600千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・保育園留学をととした長期的な関係人口の増加により、地域の経済効果や交流の活性化を図る。 ・都市部からの新たな住民や訪問者を呼び込み、持続可能な地域づくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 保育園留学は、都市部からの子育て世代を受け入れることで、地域の活性化とこどもたちが健やかに育つ環境づくりを目指す取組である。また、単なる移住支援策にとどまらず、地域の文化や自然資源を活用した保育を提供することで、定住意欲を高める取組である。 本事業は住民、地元企業、NPO法人等地域づくりに取り組む団体と連携し、地域一丸となった取組を進める。 この中で保育園留学制度は、移住や二地域居住の促進だけでなく、地域のこどもと家族の未来に向けた「こどもと家族の未来に向けた地域づくり」に貢献する重要な柱と位置づけている。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「保育園留学」を活用した地域交流支援事業（委託料）4,950千円 ・「おもかえテイクアウト」による地域子育て環境支援事業（委託料）1,650千円						
主なKPI	①転出超過数（-12人） ②保育園留学利用者数（+45組） ③保育園留学による地域への中期滞在創出（+1,080人日） ④おもかえテイクアウトの利用件数（+420件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamagata.gifu.jp/soshiki/kikaku/17692.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	岐阜県飛騨市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	38,594千円 (11,726千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少から生じる様々な影響にも前向きに捉えてチャレンジし、市内の豊富な地域資源を持続的に保全することが重要と考え、「豊かな環境と個性ある地域資源を大切にする誇り高いまち」の実現を目指す中において、域内外の人々や企業から共感される世界観の発信と地域内経済の好循環を生み出すDX、GX推進による新たな産業の創出を同時に進めることで、地方創生の実現を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 サステナブルな取組みをガイドブックやポイント制度等で普及促進するとともに、幅広い共感を獲得するための効果的な情報発信を行いながら、市内においてあらゆる方面からGXを推進していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ○ひだゼロカーボンアクションポイントの運用（委託料）5,905千円 ・ポイント制度の運営・ポイント制度の改修調整 ○脱炭素専門人材支援業務（委託料）3,542千円 ・民間相談対応支援、GX及び脱炭素化施策推進における技術的人材育成支援、中間支援組織の設立及び体制構築 ○普及啓発推進（委託料、印刷製本費）2,279千円 ・事業者・市民向けセミナー開催支援、市民イベント出店支援、情報発信（市内回覧、イベントチラシ等）、過疎地におけるサステナブルな公共交通利用促進冊子作成						
主なKPI	①市内事業者GX関連の売上高（+1,200万円） ②ひだゼロカーボンアクションポイント制度の登録者数（+1,500人） ③中間支援組織（PF）加入企業数（+10社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/8/73834.html

申請者	岐阜県飛騨市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,300千円 (7,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 都市圏に居住するビジネスパーソンに対して、飛騨市の地域課題等を学ぶ機会を提供することにより、都市圏在住の青壮年層を中心とした関係人口の裾野拡大につなげることを目指します。 ・ 上記の地域外の人材と地域内事業者とのマッチング等を通じて、地域外人材・事業者と地域内との交流・連携を促進し、地域外の知見、技術の導入、販路の確保、農水産物をはじめとした地域特産品の強みを生かしたブランディング等による高付加価値化と市場における競争力が向上を図り、地域内経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 都市圏で開催される地域課題や新規ビジネスに関心の高いビジネスパーソン向けリカレント講座に参画し、受講者に飛騨市の地域課題を学ぶ機会を提供する。これにより都市在住の青壮年層を中心とした関係人口の拡大を図り、市内事業者とのビジネス面での関与を促進する。あわせて、現地でのフィールドワークや活動支援を通じて連携を深め、事業者の商品高付加価値化や新たな販路開拓につなげ、地域経済の活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ビジネスパーソン対象のリカレント講座開催事業（委託料）2,300千円 一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会が運営する「丸の内プラチナ大学」が東京都内で開催するリカレントプログラムに参画し地域課題等の解決に関心が高いビジネスパーソンが学ぶ機会を提供する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 市内における事業者の出荷売上高の付加価値総額（+16,676千円） ② 市内における事業者の売上高(事業開始後の純増金額）（+23,500千円） ③ 市ファンクラブ会員（関係人口）の拡大（+2,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/8/73834.html

申請者	岐阜県飛騨市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	154,511千円 (53,511千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	飛騨古川のアイデンティティである「匠の技」と、住民が育んできた「調和のとれたまちの景色」を核に、単なる観光客数ではなく、地域文化に深く共感する「関係人口」の創出を目指す。飛騨の匠文化館の展示リニューアルと、周辺市街地の夜間景観の整備により、飛騨の匠の技や町並み景観の価値に「物語性」や「体験」を重ね合わせ、旅行目的地としての魅力を高めるとともに、関係人口の増加と地域経済の持続的な拡大を実現し、域外需要（国内・海外）を取り込む地域経済モデルの確立を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 飛騨の匠の技術や町並みを「まちまるごと博物館」として可視化するため、飛騨の匠文化館の展示をリニューアルし、匠の町を巡るためのガイダンス機能を強化。併せて、最新の照明技術により落ち着いた飛騨古川の町並み（瀬戸川や白壁土蔵街など）の夜間の連続性と回遊性を高め、夜間の滞在・宿泊動機を形成するための夜間照明のリニューアルを行う。さらに、上記の環境整備（ハード）整備の効果の最大化を図るため、市民等の参画の下で「まち歩きマップ」及び「町並みガイドブック」などのツールを制作するとともに、それらツールを活用した夜の町歩きツアー等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「まち歩きマップ」「町並みガイドブック」の制作（謝礼、消耗品費等） 1,349千円 ○拠点整備事業 ・飛騨市古川町町並みエリア照明のリニューアル 52,162千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①飛騨市における観光消費額（古川町中心地）（+2億2千百34万4千円） ②飛騨市古川町における夜間滞在者（宿泊観光客）（+1,800人） ③飛騨市古川町中心地における観光入込客数（+11,000人） ④飛騨の匠文化館の年間来館者数の増加（+4,300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hida.gifu.jp/soshiki/8/73834.html

事業概要：ひとで繋ぐまちづくりプロジェクト

継続

申請者	岐阜県郡上市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	124,650千円 (43,708千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・シン・郡上学（地域の自然・文化体験や地域貢献型の学び等）を通じて、住民の地域への愛着や誇り、地域づくりの意識を醸成し、定住者やUターン者等を増加させ、次世代の担い手の育成を図る。 ・住環境や働き口、若者が活躍できる機会など、次世代の担い手たちの活躍する環境の整備を行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の自然や文化を体験する多様な講座を盛り込んだシン・郡上学を展開し、住民の地域への愛着を醸成し、次世代の担い手を育成する。併せて、次世代の担い手が活躍しやすい環境整備を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 【地方創生の担い手の育成・確保事業】 ■シン・郡上学講座等 【・講師謝礼：1,568千円・委託料：497千円 ■郡上のおどり後継者（担い手）人材の確保・育成事業 ・講師謝礼：420千円・消耗品費768千円・印刷製本費98千円・スタンプ事業委託料138千円 ■高校生向け地域人材育成 ・講師派遣委託料：5,610千円 ■アウトドア体験事業者と中高生の連携、コンテンツ企画等を支援するコンシェルジュ人材の人件費補助金：4,976千円 【担い手たちの活躍する場所事業】 ■後継者不在の住宅についての相談業務：3,720千円（人件費3,720千円） ■学生・UIターン就職推進事業：6,806千円（補助金） ■お仕事マルシェ運営のための補助金：2,518千円 ■エリアマーケティング促進のための補助金：4,589千円 ■若者プロジェクト活動交付金：2,000千円 ■商工振興イベント企画運営補助金：7,000千円 ■LINEアカウント運営委託料：3,000千円						
主なKPI	①移住世帯数（+330人） ②郡上市LINE公式アカウント登録者数（市外在住者）（+1,600人） ③UIJターンの市内企業就職者数（+160人）					URL	https://www.city.gujo.gifu.jp/admin/info/post-2328.html

申請者	岐阜県下呂市					初回採択回	令和7年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	15,000千円 (5,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	大学の研究機関と連携し、下呂温泉と周辺地域における「食農循環」のしくみを構築することで、サステナブルな温泉滞在地としてより魅力を向上させ、全世界から新しい旅行先として注目、選択されることを目指す。 「食農循環」の枠組みから、新たな事業や観光商材、コンテンツを生み出し、地域経済の活性化や観光地としての魅力の向上を図ることで、将来にわたり下呂市が魅力ある観光地であり続け、観光客でまちが賑わい、観光消費が増大し、活気であふれている姿を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 旅館から排出される「食品残渣」の利活用に向け各種提案の選定、参画企業からの提案の調整等を行い、今後の方向性の決定や事業化につながる実証事業を行う。 令和7年度事業では食品残渣からバイオコークス（固形燃料）を試作し、燃焼実験等を行った。形状や品質の向上には食品残渣の乾燥化が有効との知見が得られたことから、温泉熱による一次処理装置の開発と検証を試みる。また、下呂市ならではのコンセプト的な商品設計の検討を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・食農循環を目指した東海国立大学機構の実証事業にかかる委託費 5,000千円 事業のスタートアップ（合意形成、ニーズの再確認、企画コンペ等）、参画企業の誘致・伴走支援、実証事業の実施と効果測定						
主なKPI	①宿泊消費額（+10億円） ②市内年間宿泊者数（+約30万人） ③下呂温泉外国人観光客宿泊者数（+4.5万人） ④食品ロス、食農循環に関連した新規事業提案の数（+10件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gero.lg.jp/soshiki/7/38588.html

事業概要：海津市野外音楽フェスやPR動画等による人を呼び込むシティプロモーションプロジェクト

継続

申請者	岐阜県海津市					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,650千円 (11,100千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	市制20周年のメイン事業として、市として初めての野外音楽フェスティバルを開催することで、幅広い年代の市民及び市外からの 若者を中心とした 来訪者が音楽を通じた交流を深めるとともに、地域経済の活性化を図る。 今後、毎年定期的にフェスを実施することで、活気のある音楽のまちというイメージを醸成し、本市への若者の来訪増加と地域経済の活性化を促進させる。市の発展の軌跡や魅力等を積極的にインナープロモーションすることにより、シビックプライドを醸成し、人口流出を抑制する。20周年を契機として、アウターブランディングを強化することにより、市の知名度向上を図り、関係人口増加に繋げ、ひいては移住定住を促進していく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 野外音楽フェスを継続して開催し、幅広い年代の市民及び市外からの 若者を中心とした 来訪者が音楽を通じた交流を深めるとともに、地域経済の活性化を図る。野外音楽フェスを初めとする市の情報をあらゆる媒体で市内外に効果的に発信する。 令和8年度以降は、市直営を見直し、民間的ノウハウを持つ（一財）海津市観光協会へ運営を転換。 また、令和8年度以降は、入場料を有料とし、事業価値を明確化し、将来的な自立化を見据える。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・野外音楽フェス事業 市観光協会補助金 10,000千円 ・海津市プロモーション事業委託料 WEB広告費：1,100千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①転入者数（+240人） ②移住者数（+24人） ③フェスの参加人数（+25,673人） ④動画再生数（+3,118,500回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kaizu.lg.jp/shisei/0000000054.html （効果検証） https://www.city.kaizu.lg.jp/shisei/0000002259.html

申請者	岐阜県海津市					初回採択回	令和7年第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	16,170千円 (3,960千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	都市部の子育て世帯が海津市の保育施設に短期間通い、地域の暮らしや自然環境を体験することで、移住や二地域居住への関心を高める。 本市地域住民との交流を深める仕組みを構築することで、本市に愛着を持つ家庭が増えて移住者増加に繋がる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 都市部の子育て世帯に向け、田舎暮らし体験プログラムを提供する。市内のこども園を中心に、子どもたちが地域の農業体験や自然学習を行いながら交流を深める仕組みを構築することで、移住や二地域居住への関心を高めることを目的とする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 保育園留学事業 ①委託費：マネジメント費（全体プログラム推進、関係者調整）：1,620千円 ②委託費：家族対応（カスタマーサポート等）：1,320千円 ③委託費：PR訴求（送客支援等の並走費用）：1,020千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①転入者数（+240人） ②移住者数（+20人） ③保育園留学を通じた家族単位での利用者数（+30世帯） ④中期滞在の宿泊数（+420日）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kaizu.lg.jp/shisei/0000000054.html （効果検証） https://www.city.kaizu.lg.jp/shisei/0000002259.html

事業概要：「ふらっと笠松」施設拡大整備事業

新規

申請者	岐阜県笠松町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,400千円 (30,400千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	「ふらっと笠松」の施設拡大を実施し、従来の行政情報発信等の機能に加え、観光機能を兼ね備えた複合施設として、地場産業の付加価値向上を目指す。 町の魅力向上と情報発信による来訪者を獲得し、交流・関係人口の創出を目指し、地域全体でにぎわいと活力あふれる創造のまちを創り上げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 名鉄笠松駅構内にある「ふらっと笠松」を、地域住民向けの公共サービス機能と来訪者向け観光機能を両立させるため施設拡充を行う。また、これまでの行政情報発信、笠松町巡回町民バス待合所等の機能に加え、アニメ「ウマ娘」関連グッズ等の充実、憩いの場の整備、コインロッカー設置及びデジタルサイネージによる観光機能を両立させ、観光拠点の中心地としての位置付けを確立する。これによって、来訪者の利便性向上並びに観光消費額の向上を図る。					<旧>  <新> 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・施設設計監理業務 実施設計 6,138千円 ・建築物本体工事 施設改修工事 18,393千円 ・建築物と不可分な設備工事 給排水設備工事・電気設備工事等 3,470千円 ・解体工事 天井ボード・壁ボード捲り 1,684千円 ・備品整備 コインロッカー 715千円						
主なKPI	①観光消費額（+10,396円） ②ふらっと笠松利用者数（+23,316人） ③来訪者満足度（+10%）					URL	https://www.town.kasamatsu.gifu.jp/docs/2026060800020/
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：垂井町ビジネス拠点施設「コネクトベース垂井」楽しい地方共創推進プロジェクト

継続

申請者	岐阜県垂井町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,105千円 (20,480千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	垂井町のコミュニティ形成の中核を担う重要な地方創生拠点である「コネクトベース垂井」において、町内の若年層と女性に対し、暮らしの満足度の向上に体系的に取り組むため、多様な職業選択肢の提示や「地域ぐるみ」の子育て支援を、施設の機能や設備を活かしたソフト事業の実施を通じて提供する。多様な職種と世代が集い、共創や協業により繋がり、それぞれの個性や才能を最大限発揮し、未来の垂井を創造できるあり方を示し、人口減少を抑制する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 コネクトベース垂井を拠点に、多様な人材が集い連携することで地方創生を推進する。新たな技術や考え方を生み出した新規事業の創出、起業、キャリアアップ等を目的とする各種セミナーの実施により人材育成と創業支援を行うとともに、町内外事業者や町外大学・大学院と連携した実証実験や異業種技術交流会を通じて、技術協力や協業機会の提供を図る。地域資源の活用や交流促進を通じ、雇用創出と持続的な地域活性化を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 課題解決に資するイベント企画実施経費 ・企画実施経費（委託料）：11,540千円 ・広報／プロモーション費（委託料）：5,040千円 ・販路開拓支援（補助金）：1,500千円 事業設備・備品費 ・機材費：2,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用者数（+5人） ②ワークショップ参加者数（+530人） ③新規起業数（+36件） ④創業・起業支援の適用件数（+36件）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.tarui.lg.jp/page/17754.html

事業概要：府中地区まちづくりセンター移転改修事業

継続

申請者	岐阜県垂井町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	249,300千円 (157,120千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	老朽化した地区まちづくりセンターの移転改修事業を行い、安全で快適な活動拠点を提供することで、地区住民の積極的な社会参加を促し、地域コミュニティの活性化につなげる。 新施設において子育て支援機能を強化することで、若者世代の定住を促進する効果を期待し、地区内若年層人口の減少を食い止める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 当該地区内のコミュニティ活動を支える府中地区まちづくりセンターは、長年にわたり住民の交流拠点としての役割を果たしてきたが、人間関係の希薄化や、地区に対する興味・関心の低下が進むこと等により、まちづくりに関する意識は低い傾向にあり、地域課題を自分ごととして捉える意識が、さらに広がっていく余地のある地区である。 よって、現在、使用されていない旧府中幼稚園舎への移転改修を行い、「第三の居場所」（サードプレイス）としての地区まちづくりセンターの再構築を行う。地域コミュニティの活性化とともに、子育て支援機能を強化することにより、若者世代も気楽に立ち寄れるような施設を整備する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物整備 142,120千円 ・備品整備 15,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地区内の20代・30代人口における減少人数の対前年度比人数（+0人） ②年間施設延べ利用者数（+235人） ③年間施設利用回数（+25回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.tarui.lg.jp/site/machizukuri/

事業概要：中山道今須宿問屋場地域住民交流拠点・観光拠点整備事業

新規

申請者	岐阜県関ヶ原町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	143,362千円 (6,891千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・今須宿問屋場を地域の歴史資源から地域住民の交流拠点および観光拠点として「地域の課題を解決する拠点」へ再生する。 ・地域内交流の不足、観光動線の弱さなど今須地区の課題解消と地域資源を面的に活かした持続可能な地域づくりを推進する。 ・拠点整備事業とソフト事業の相乗効果により、来訪者一人当たりの滞在時間および消費機会を拡大し、観光消費額の増加と地域経済の好循環の創出を目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は人口減少・高齢化、地域コミュニティ機能の弱体化、文化財・歴史資源の未活用、観光動線の分断と滞在時間の短さなど今須地区が抱える構造的課題を踏まえ、今須宿問屋場を関ヶ原宿と柏原宿を結ぶ「立ち寄り・滞在・周遊の起点」として位置付け、展示・学習機能、休憩・カフェ機能、庭エリアでの散策・体験空間を一体的に整備することで、来訪者が短時間で通過するのではなく、滞在し次の訪問先を検討する時間と場を創出する。 併せて、中山道今須宿への新たな人流を生み出す誘客に向け、歴史講座の実施、ガイドツアー、広域連携スタンプラリーのほか、周辺宿場町・教育研究機関との連携を強化し、中山道今須宿を核とした広域的な回遊と学びの場の定着を図る。 これら拠点整備事業とソフト事業の相乗効果により、観光消費額の増加と地域経済の循環を創出し、地域活性化につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・施設改修にかかる基本設計、実施設計 6,891千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関ヶ原町の観光消費額の増加（＋1.72億円） ②まちづくり組織、移住者、民間企業、行政との連携イベント（＋12回） ③利用者満足度アンケート結果（＋4.0）※5段階評価 ④年間来場者数（＋3,000人） ⑤今須宿問屋場での地域製品の売上高（マルシェ等のイベントでの売上を含む。）（＋4.8億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.sekigahara.gifu.jp/ 令和9年3月 令和8年度実施する設計について設計書の概略を公開予定

申請者	岐阜県安八町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	68,816千円 (41,001千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・現在、町ではあらかじめ定められた時刻表と停留所によるコミュニティバスを運行しているが、路線から外れた地域や希望する時間に利用できないなど課題があったことから、公共交通空白地域の解消や利用者増を図るため、事前予約性のデマンドバスを運行することにより、コミュニティバスの利便性の向上と、効率的な運行による持続可能なサービスの提供を構築する。 ・利用者ニーズに合った交通手段の確保により、利用者増が期待できるとともに地域の活性化に寄与することができる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デマンドバスを導入し、事前予約による柔軟で効率的な運行体制を構築することで、従来の固定路線を廃止し乗換不要の利便性を実現する。需要に応じた運行により環境負荷を抑えつつ持続可能な交通を目指す。ニーズ調査に基づく運行見直しや、高齢者向け体験イベント等で利用を促進し、事業者との連携により継続的にサービス向上を図る						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・バス運行委託（委託料）25,001千円 ・車両購入費 12,020千円 ・バス停増設、パンフレット印刷支援委託（委託料）3,980千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①月平均利用者数の対前年増加率（1か月あたり）（+10%） ②走行距離あたりの乗車人数（乗車人数÷走行距離）（+0.78人/km） ③フレイル予防教室の体験参加人数（+75人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.anpachi.lg.jp/000002580.html

事業概要：テレワーク施設周辺環境整備事業

継続

申請者	岐阜県安八町					初回採択回	令和7年度第 2 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	428,021千円 (99,811千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		
目的・効果	地方での魅力ある働き方を推進し、地方と都市を結ぶ施設として整備したテレワーク施設（むすぶテラス）に隣接する北部公園を再整備することにより、地方での魅力ある働き方や、安心して子育てができる環境をつくることにより交流・関係・移住人口の増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 テレワーク施設周辺の北部公園を改修し、地方ならではの魅力的な働き方を推進する。樹木伐採や景観整備を行った後、人工芝や照明、各種公園設備を整備し、多目的に活用可能な空間を創出する。イベントやスポーツ、交流機会の充実により、子育てと仕事の両立や世代間交流を促進し、「働く・育てる・遊ぶ」が一体となった暮らしを実現するとともに、PR動画を通じて移住促進と関係人口の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 実施設計業務 23,100千円 公園設備整備（交流広場） 敷地造成 37,486千円 照明設備 29,989千円 公園設備 9,236千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 3大都市圏からの移住者数 （+26人） ②コワーキングスペース利用者数 （+31,510人） ③移住者向けPR動画再生回数 （+22500回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.anpachi.lg.jp/000002580.html

事業概要：ぎふ木遊館サテライト施設（仮称）いび木遊館建設事業

新規

申請者	岐阜県揖斐川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	令和8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	142,106千円 (142,106千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・子育て支援対策は喫緊の課題であり、建設予定地に隣接する児童公園とともに魅力ある子育ての場を提供することで、少子化及び若いファミリー層の人口流出に歯止めをかける。 ・「ぎふ木育」の理念を共有し、子供の時期から森や木に触れ合うことで、森林又は環境への意識の向上が図られる。 ・広大な建設予定地の敷地を活用し、マルシェや体験活動など子供だけでなく、多くの世代が参加できる施設にすることで、地域の活性化に繋げる。 ・館の魅力を積極的に外部発信し、体験プログラム等の企画を充実させることで、町内のみならず町外からの利用客の増加を見込む。 ・キャンプ施設や林業事業体と連携（森林体験、木工教室など）することで、地域の観光産業や林業産業の振興に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 当町は昭和32年の全国植樹祭、昭和51年、平成27年の全国育樹祭と皇室3代にわたり揖斐の森づくりに深く関わっていただいた地であることから、今回整備する木遊館は皇室3代のお手植え会場に隣接する山林より伐採した木材を使用して建設する。 また、木育を主体とした施設とするため、大型遊具や木のおもちゃの導入、木工体験やクラフト体験ができる施設とする。 施設の運営に当たっては、町内の幼稚園やキャンプ施設、林業事業体とも連携し、体験プログラム等を月単位で企画することで、町外利用客の増加に繋げるとともに、館での体験等がキャンプ施設や林業事業体へ付随効果（キャンプ施設利用者の増、未利用材の活用等）が生まれ、更なる交流人口の増加及び観光産業、林業産業の振興につながるような事業とする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建設工事（本体、電気設備、外構、駐車場、諸経費） 142,106千円 建築面積 186㎡（延床面積 182㎡）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の交流人口（+3,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年4月公表予定

申請者	岐阜県揖斐川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	201,353千円 (201,353千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・道の駅の魅力を向上させ、利用者の快適性や安全性を向上させるとともに、地域経済の活性化を図る。 ・道の駅を単なる観光や物販施設ではなく、地域産業が継続的に成長するための販売・実証・改善の拠点とし、官民連携により自立的な地域経済構造の確立を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 物産販売所の室内空間を魅力が高くなるよう改修することにより、若者世代が何度も訪れやすい今の時代に合った幹っ強を整備する。また、商品配置や導線が改善され、来訪者が回遊しやすい売り場環境が整備されたことにより、購入点数の増加や滞在時間の延長が見込まれ、売上額向上や地域産品の認知度向上につながる。また、観光客の満足度や再訪意欲が向上し、交流人口の拡大につながる。さらには、整備された販売環境が、将来的な商品開発や販路拡大の基盤となり、地域産業の持続的な成長につながる。また、デジタル技術を導入することで、販売データを活用し、効率的な運営と継続的な改善が可能となる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・道の駅 星のふる里ふじはしリニューアル工事 建築物整備 194,477千円 設備整備・用地造成等 6,876千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①日帰り客の観光消費額（+6.23億円） ②施設利用者数（+17,500人） ②施設売上額（+2千2百万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年4月公表予定

事業概要：高校生が発信する住み続けたい街「池田」プロジェクト

継続

申請者	岐阜県池田町					初回採択回	令和5年度第 1 回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	64,557千円 (12,145千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・キャリア教育等による町民のシビックプライド醸成、住み続けたいと思えるまちづくりを行う ・効果的に伝わる情報発信を目的とし、高校生と連携した若い世代からみた池田町の魅力発信を行う ・地元観光資源の有効活用と効果的PRにより、観光人口、関係人口の増加を図る ・多文化共生事業により多様な人々が安心して暮らせるまちづくりにより10～30代人口増を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若い世代のシビックプライド醸成を図り、若者の人口流出を抑制し、住み続けたいと感じる池田町にするために以下の事業を実施する。また、SNSの情報発信の強化、新しいデジタル技術を活用する。					 行政は支えとなる根 民間事業者と高校生 は幹となり成長し、町の魅力は町内外に発信され、枝、葉が広がっていく。 魅力発信強化事業におけるイメージ図。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 シビックプライド醸成事業 ・地元の企業を知るキャリア教育事業（報償費） 550千円 ・地元の仕事を知る体験講座の実施（印刷製本費） 710千円 魅力発信強化事業 ・高校生と連携したSNSを活用した情報発信（委託費） 2,100千円 ・地元観光資源の有効活用・PR事業（委託費） 6,600千円 多文化共生事業 日本語ひろばの開設委託事業 300千円（委託費） まちづくり拠点施設「霞溪舎」指定管理委託業務 885千円（イベント開催、企画立案等）（委託料） 多文化交流イベント、イルミネーション事業 1,000千円（委託費）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①10～30代の人口増減数（+173人） ②町発信のSNS閲覧数（+16,100総閲覧数） ③大津谷キャンプ場の利用件数（+27,050件） ④国際交流イベントなどの参加者数（外国人と地域住民）（+150人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.gifu-ikedata.lg.jp/0000003609.html

事業概要：池田温泉を起点としたその周辺施設との総合的・一体的まちづくり事業

新規

申請者	岐阜県池田町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	515,250千円 (515,250千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	池田温泉を起点とした池田山麓周辺の環境整備を進め、地域の魅力をさらに向上させることで、観光資源との相乗効果を生み出し、活気ある町づくりを目指す。さらに、SNSを活用した情報発信を強化することで、池田温泉はじめ池田山麓周辺施設の利用者数増加を図り、観光客の増加から関係人口の拡大や人口減少抑制、地場産業の付加価値向上につなげることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 泉質の良い温泉とサウナ、露天風呂、山麓の自然環境という強みを活かし、施設のリニューアルと機能強化を図る。具体的には、サウナ機能の改善や眺望を活かした入浴環境の整備により利用者の増加と健康増進効果を目指すとともに、地域の歴史・文化・特産品を学べる体験型スペースや演奏・演劇が可能な空間を整備し、交流拠点としての価値を高める。また、SNSやウェブサイトによる情報発信の強化、多言語対応による外国人観光客の受入環境整備を進める。さらに、観光客データの収集・分析を通じて需要に応じたサービス提供や効率的な施設運営を実現し、継続的な集客力向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・施設機能追加のための設備改修等事業 池田温泉施設に「人的・文化的交流機能」等を備えるためのリノベーション (設計費) 29,700千円 (工事費) 449,350千円 (備品費) 36,200千円						
主なKPI	①池田町の観光入込客数 (+118,500人) ②池田温泉利用者数 (+190,000人) ③SNS総フォロワー数 (+4500件) ④池田温泉の収益 (+1億2,160万円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.gifu-ikeda.lg.jp/0000003609.html (令和8年8月公開予定)

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

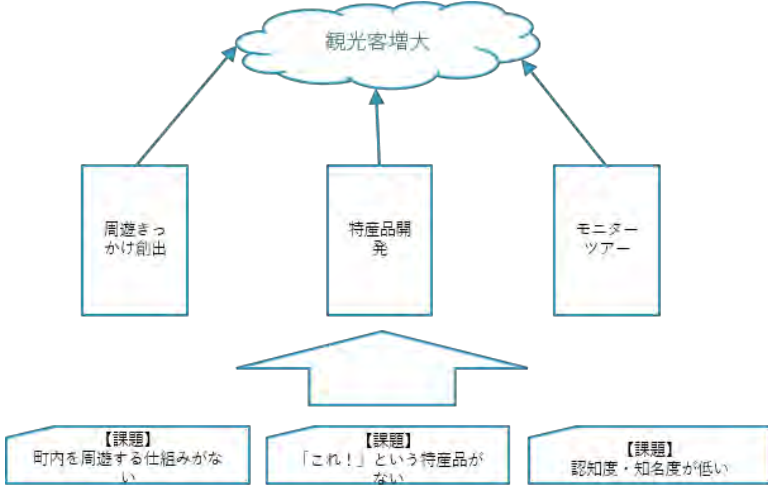
事業概要：ひととしごとの未来デザインプロジェクト

新規

申請者	岐阜県白川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	45,600千円 (10,340千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	町内中高生やマルチワーカーから外部人材や関係人口まであらゆる人材が途切れなく地域に関わり続ける「学びと実践の循環」を構築し、地場産業の革新を目指す。 また、企業の経営課題を若者の感性や専門性と掛け合わせ、新たな「なりわい」や付加価値を共創するとともに、公共メディアを通じて挑戦のプロセスを可視化する。さらに、町全体にシビックプライドの醸成と、若者が活躍できる地域社会を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 白川の暮らしと仕事に未来の希望が持てるために、「人材・仕事」×「情報伝達」を掛け合わせて相乗効果を狙う。地域に魅力ある仕事と誇れる企業を、地域内外の人材と地元企業で共創する。 前向きな取り組みも、町民に伝わらなければ「無い」と認識される。地元のプロ人材と地域メディア、ケーブルテレビ等と戦略的にプロモーションを実施し、伝わる感動するコンテンツを制作し、様々なメディアを通じて発信する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 地域人材循環キャリア創発推進プロジェクト（委託料） 6,200千円 地域クリエイター活躍育成推進プロジェクト（委託料） 1,980千円 地域価値発信公共メディア活用プロジェクト（委託料） 2,160千円						
主なKPI	①地域における起業者数（+15件） ②地場産業の課題解決・新事業に関わった延べ若者数（+150人） ③若者・クリエイターとの共創により開発した商品・サービス数（+8件） ④小中学生と保護者の地域課題解決意欲（+10%） ⑤地域メディア（TV・SNS等）による到達率（+15%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shirakawa.lg.jp/kankou/koyou_roudou/1003312/index.html

事業概要：みたけワクワクプロジェクト～発見・発信・発展の観光交流～

継続

申請者	岐阜県御嵩町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,662千円 (6,192千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	町内を周遊するきっかけを創出する事業を実施し、観光客の増大を狙う。 新規特産品を開発し、大都市圏でのタウンプロモーションを通じて、町の認知度・知名度向上及び町内消費や事業者売上の増加を目指す モニターツアー参加者から地元との交流や町との意見交換を実施し、観光の新ビジネスや観光客の受け入れ態勢の充実を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光入込客数の減少（H28年度504千人→R5年度420千人）を踏まえ、増加に向けた施策を実施する。ゴルフ場を活用したPRや周遊促進、地域資源を生かした学習・交流機会の創出により来訪動機を高める。併せて、事業者や学生等の連携による特産品開発と都市圏でのプロモーションを行い、新たな人の流れを創出する。さらにモニターツアーにより観光資源の磨き上げと受入体制の向上を図り、持続的な観光振興を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 町内周遊のきっかけ創出事業 ・ゴルフツーリズム業務委託 1,950千円 新たな特産品開発 ・官民学連携による食と文化のタウンプロモーション（委託料）4,000千円 モニターツアー事業 ・ツアープラン構築・ツアー周知費用（委託料）242千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+19,379人） ②新規特産品数（+3個） ③YouTube動画再生数（+3,000回） ④新たな観光にかかる新規ビジネス創業件数（1件） ⑤新たな仕事への意欲向上（+3.7満足度）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.mitake.lg.jp/portal/town/measure/various-plan/post0098698/

事業概要：みたけ未来ファミリー創出事業

「第二のふるさと」化による地場産業担い手育成プロジェクト

新規

申請者	岐阜県御嵩町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	64,838千円 (11,338千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・町民の郷土愛を醸成し、多世代が共創することで地域の一体感と自立的なまちづくりを促進し、持続可能な地域社会を築く。 ・関係人口を地域の担い手として育成し、交流や学習プログラムによって継続的な地域参画を実現し、移住・定住を促進する。 ・複業人材や地元高校生との連携を強化し、地場産業の経営力向上と次世代リーダー育成により、地域経済の持続可能な発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、内発的な郷土愛の醸成を起点とし、発信力向上から持続的な担い手創出を図ることで地方創生の好循環を構築するものである。1年目は多世代共創型インナーブランディング事業により、御嵩町の特色を表すロゴやステートメントを制作し、郷土愛の可視化と発信力強化を行う。関係人口創出ファンクラブでは交流会や活動補助を通じてファンを主体的な担い手に育成する。2年目以降、都市部中学生への滞在学習事業で地域愛着を深め、一過性の交流を防止する。加えて、複業人材とのマッチングや地元高校生へのキャリア教育により、地域課題解決と若年層の流出抑制に努める。さらにまちづくりネットワークの推進を通じ、住民の自律的活動と内なる熱の醸成を支えるものである。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ブランディングに係るロゴ・キャッチコピーの制作等（委託料）4,950千円 ・プロモーションイベント運営等（委託料、広告費、謝礼等）1,898千円 ・地域ネットワークづくりセミナー講師謝礼 600千円 ・複業人材登用マッチング（委託料、謝礼）2,460千円 ・キャリア教育プログラム運営（委託料）1,430千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+42人） ②滞在型教育プログラム修了者の翌年度の地域活動参加率（+6%） ③複業人材活用による地場産業の課題解決プロジェクト成功率（+225%） ④地元高校生・若年層の町内就業者数（+60人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.mitake.lg.jp/portal/town/measure/various-plan/post0098698/

事業概要：酒蔵建設による白川村の新たな魅力の創出と村ごと6次産業化プロジェクト

継続

申請者	岐阜県白川村					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	900,000千円 (693,570千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本事業は、世界遺産白川郷合掌造り集落から一級河川庄川を挟んだ対岸に渡辺酒造店（飛騨市古川町）の酒蔵を建設する事業である。村のウィークポイントである2次産業の新たな拠点となる酒蔵を整備することによって、土壌のできている観光業と村唯一の1次産業である農業の懸け橋をつくり、酒米生産から販売までが全て村の中で完結する村ごと6次産業化を推進することを目的とする。6次産業化による影響は村全体に及び、村民の安定した経済基盤の構築、観光客の満足度向上、観光消費額の増加、さらには関係人口の増加、帰村する子供、新たな移住・定住者の獲得、村内での経済循環システムの構築等、連鎖的な好循環が生み出され、村に「暮らしている人」、「訪れる人」、「これから暮らす人」が笑顔になる持続可能な村づくりを可能とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 世界遺産白川郷合掌造り集落から徒歩10分ほどの一級河川庄川を挟んだ対岸に渡辺酒造店（飛騨市古川町）の酒蔵を新設する。村内の酒米を利用した高付加価値のオリジナルブランドの酒を製造する。酒蔵を起点として農家所得の向上に加え、酒蔵見学、新規特産品の誕生等、観光業における滞在時間や観光消費額の向上にも寄与する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 村ごと6次産業化の要となる酒蔵を整備（補助金） 建築物本体工事 534,850千円 設備整備 158,720千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+192百万円） ②地域の人口・世帯数（20～39歳）の転出超過数（▲5人） ③酒蔵醸造酒の村内における売上高（+193百万円） ④アントレプレナーシップの造成（+51%） ⑤村内農家の酒米出荷額（+28百万円） ⑥酒蔵の入込数（+281千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.shirakawa.lg.jp/2891.htm (効果検証結果及び改善方策の公表については令和8年9月公表予定)